

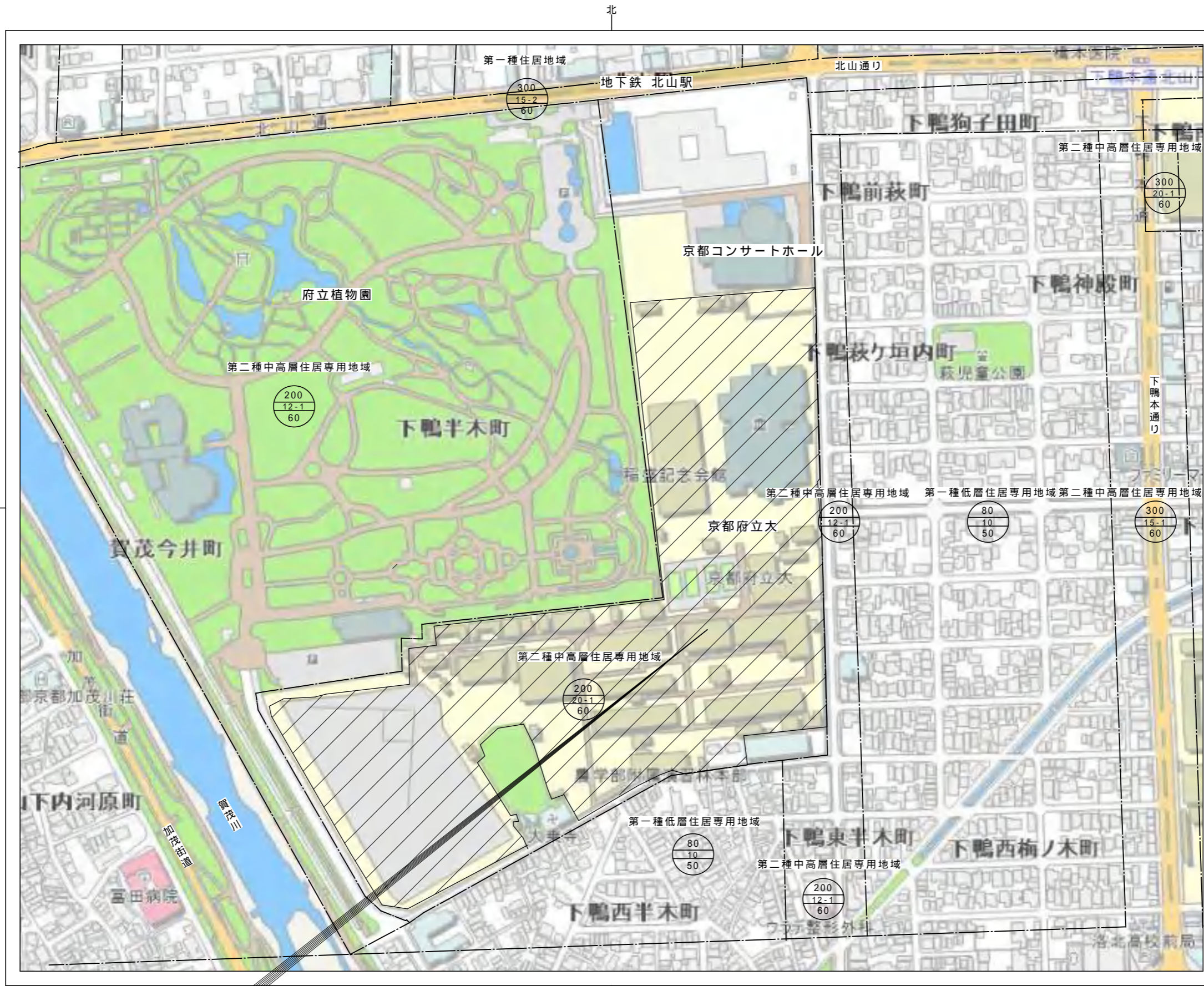
京都府立大学 7号館屋上防水改修工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	表紙・図面リスト	-	A-10	改修屋上平面図・改修搭屋平面図	1/100
A-02	建築改修工事特記仕様書(1)	-	A-11	北立面図(参考)	1/100
A-03	建築改修工事特記仕様書(2)	-	A-12	東立面図(参考)	1/100
A-04	付近見取図	1/2,500	A-13	南立面図(参考)	1/100
A-05	配置図	1/2,000	A-14	西立面図(参考)	1/100
A-06	1階平面図(参考)	1/100	A-15	東-西断面図(参考)	1/100
A-07	2階平面図(参考)	1/100	A-16	南-北断面図(参考)	1/100
A-08	3階平面図(参考)	1/100	A-17	部分詳細図(1)	1/20
A-09	現況屋上平面図・現況搭屋平面図	1/100	A-18	部分詳細図(2)	1/10・1/20

	Kyoto Prefectural University 京都府立大学事務局総務課	中村設計 豊田和弘 一般建築士事務所 京都府(03A)第00956号 一般建築士 第193262号	工事名 京都府立大学 7号館屋上防水改修工事	図番 A-01
	設計番号 令和4年4月		図名 表紙・図面リスト	縮尺 .
				A-18 枚の内

建築改修工事 特記仕様書		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																									
<p>【1】 工 事 概 要</p> <p>1. 工 事 場 所 京都市左京区下鴨半木町1-5</p> <p>2. 敷 地 面 積 116,794.23 m²</p> <p>3. 建築物概要</p> <table border="1"> <tr> <th>棟 名</th> <th>構 造</th> <th>階 数</th> <th>建築面積(m²)</th> <th>延べ面積(m²)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>7号館</td> <td>鉄筋コンクリート造</td> <td>地下1階 地上3階建て</td> <td>960.50</td> <td>2487.50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>4. そ の 他</p> <p>【2】 適 用 範 囲</p> <p>現場説明書（質疑回答書を含む）、本特記仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。すべての設計図書は相互に補充するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）をいう。（以下、これを「改修標準」という。）本書に特に記載のない事項であっても、すべて、「改修標準」の適用を受けるものとする。</p> <p>【3】 工 事 区 分</p> <p>設計図書による。別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。</p> <p>【4】 工 事 仕 様</p> <p>1.設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修標準」のほか別記の適用基準による。 2.項目は、番号に 印の付いたものを適用する。 3.特記事項は、印の付いたものを適用する。印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。印と 印の付いた場合は、共に適用する。印が抹消された場合は、印のみ適用する。 4.項目及び特記事項に記載の（ ）内表示番号は「改修標準」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>		棟 名	構 造	階 数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備 考	7号館	鉄筋コンクリート造	地下1階 地上3階建て	960.50	2487.50																				<p>1 特別な材料の工法 設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。</p> <p>2 風圧力及び積雪に対する性能 建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等 風速 (Vo) 3 2 (平成12年5月31日建設省告示第1454号) 地表面粗度区分 多雪地域の指定 なし あり</p> <p>現場代理人 本工事の施工にあたっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。</p> <p>工事工程報告 月報は毎月末日に、翌月5日までに提出する。日報は監督職員の指示による。週報は毎週（定例）曜日に提出する。</p> <p>工事実績情報の登録 (1.1.4) 適用する（適用事項は、現場説明書による） 適用しない</p> <p>8 設備工事との取合い 施工範囲 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強</p> <p>施工図 設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>施工図等の取扱い (1.2.3) 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。</p> <p>工事写真 (1.2.4) 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（最新版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）によるほかは監督職員の指示による。下記ものを監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>部 数(ネガ1枚につき)</th> <th>分 類 ・ 規 格</th> <th>原 版 の 大 き さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>着 工 前</td> <td>1</td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>工 事 中</td> <td>1</td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完 成 時</td> <td>屋 内 ()箇所</td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上 60×70以上</td> </tr> <tr> <td>外 観 (2)箇所</td> <td>カラーサービス版 カラーパネル半切</td> <td>24×36以上 60×70以上</td> </tr> </table> <p>写真をデジタル写真で撮影する場合には、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。完成写真撮影者は、監督職員の承諾する撮影業者（建築写真専門業者）とする。</p> <p>適用する</p> <p>11 電気保安技術者 (1.3.3) 現場説明書による</p> <p>施工条件 (1.3.5) 現場説明書による</p> <p>発生材の処理等 (1.3.12) 引渡しを要するもの（ ） 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの（ ） 指定副産物の搬出（詳細は現場説明書による） アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地（詳細は現場説明書による） 指定地処分（ ） 自由処分（ 最寄りの再資源化施設へ搬出すること ） 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理（ ） 特別管理産業廃棄物</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>処 理 方 法</th> </tr> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ（臭化リチウム）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ（蓄電池電解液）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </table> <p>廃石綿の処分地（ 東京都環境保全公社瑞穂センター ）</p> <p>せっこうボードの処理方法 石綿含有せっこうボードの処理 改修標準9.1.5による ひ素・カドミウム含有のせっこうボードの処理 製造業者にて処分 埋立処分 その他のせっこうボードの処理 最終処分 再資源化</p>		部 数(ネガ1枚につき)	分 類 ・ 規 格	原 版 の 大 き さ (mm)	着 工 前	1	カラーサービス版	24×36以上	工 事 中	1	カラーサービス版	24×36以上	完 成 時	屋 内 ()箇所	カラーサービス版	24×36以上 60×70以上	外 観 (2)箇所	カラーサービス版 カラーパネル半切	24×36以上 60×70以上	種 類	処 理 方 法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ（臭化リチウム）		廃酸・廃アルカリ（蓄電池電解液）		S F 6ガス使用機器		<p>1 一般共通事項</p> <p>14 調査のための破壊部分の補修 (1.5.3) 既存破壊部分の補修方法 図示による</p> <p>技能士 (1.6.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>左官作業 型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>構造物鉄工作業 とび作業</td> </tr> <tr> <td>アルミ及びALCA工事</td> <td>コンクリートポンプ工事作業 ALCA工事作業</td> </tr> <tr> <td>カーテン工事</td> <td>金属製カーテン工事作業 ビニールシート工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>アクリル防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 改質アクリル樹脂工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>鋼製下地工事作業 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>ビニールシート工事作業 ガラス工事作業 自動ドア工事作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>プラスチック系床仕上げ工事作業 石膏仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>溶融ヒートドレマカ工事作業 加熱ヒートドレマカ工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園工事作業</td> </tr> </table> <p>ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。</p> <p>16 施工の検査等 (1.6.5) 見本施工の実施 適用する（ ） 適用しない</p> <p>17 化学物質の濃度測定 (1.6.9) 適用する（適用事項は、現場説明書による）</p> <p>完成図 (1.8.2) 作成する（提出部数 2部 ___部） 詳細は監督職員の指示による。完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。</p> <p>保全に関する資料 (1.8.3) 作成する（提出部数 2部 ___部） 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 建物を使用する上での注意事項 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。</p>	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	とび作業	鉄筋工事	鉄筋組立作業	コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業	鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業	アルミ及びALCA工事	コンクリートポンプ工事作業 ALCA工事作業	カーテン工事	金属製カーテン工事作業 ビニールシート工事作業	防水工事	アクリル防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 改質アクリル樹脂工法防水工事作業	石工事	石張り作業	タイル工事	タイル張り作業	木工事	大工工事作業	屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業	金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業	左官工事	左官作業	塗装工事	建築塗装作業	建具工事	ビニールシート工事作業 ガラス工事作業 自動ドア工事作業	内装工事	プラスチック系床仕上げ工事作業 石膏仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 壁装作業	排水工事	建築配管作業	舗装工事	溶融ヒートドレマカ工事作業 加熱ヒートドレマカ工事作業	植栽工事	造園工事作業	<p>2 仮設工事</p> <p>足場その他 (2.1.3) (2.2.1) 足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省 基発第0424001号）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中柱及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971</p> <p>外部足場 施行箇面に枠組足場を設ける。施行箇面にくさび緊結式足場を設ける。施行箇面側に単管本足場を設ける。仮設ゴンドラを使用する。移動式足場を使用する。</p> <p>内部足場 脚立、足場板等</p> <p>防護シート等 防音パネル 防音シート 養生シート ネット及び養生シート</p> <p>材料、撤去材等の運搬方法 A種 B種 C種 D種 E種 (表2.2.1)</p> <p>既存部分の養生 (2.3.1) 既存部分の養生 行う（ ビニールシート、合板 ） 行わない</p> <p>既存家具・既存設備等の養生 行う（ ビニールシート ） 行わない 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 行う 行わない 養生の方法 取り外しのうえ清掃 保管場所 室内にてカバー掛の上、適切保管 家具の移動 行う（ 図示 ） 行わない</p> <p>3 仮設間仕切り (2.3.2) 設ける（ 図示 ）</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>せっこうボード 種類 GB-R</td> <td>なし 片面</td> <td>グラスウール 24kg/m³</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B種</td> <td>厚さ mm 9.5mm</td> <td></td> <td>厚さ 50mm</td> </tr> <tr> <td>合板 材質 珪藻合板 厚さ mm 9mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>全面シート張り</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>設けない</p> <p>4 監督職員事務所 (2.4.1) 規模 10㎡程度 20㎡程度 35㎡程度 65㎡程度 100㎡程度 仕上 床 合板張り素地 ビニールシート敷き パネル敷き 内壁、天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂珪藻合板塗り 屋根 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り 鉄板張り鋼合板塗り 休憩室 設けない 設ける（敷き） 備品 机 いす 保護帽 ゴム長靴 雨がっぱ 衣類ひか（上記6品、___人分程度） 書棚 黒板 製図板 掛時計 温度計 消火器 掃除具 懐中電灯 湯沸器 加入電話機 冷暖房機器 コピー機 ネット回線 流し台 改修標準（平成31年版） 建築改修工事監理指針（令和元年版） 建築工事施工チェックシート 建築工事標準詳細図（平成28年版） 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（最新版）</p> <p>工事用水 構内既存の施設 利用できない 利用できる（ 有償 無償 ）</p> <p>工事用電力 構内既存の施設 利用できない 利用できる（ 有償 無償 ）</p> <p>仮囲い等 図示による</p> <p>8 設計 G L 図示による 設計 G L = 現状 G L</p>	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	A種	せっこうボード 種類 GB-R	なし 片面	グラスウール 24kg/m ³	B種	厚さ mm 9.5mm		厚さ 50mm	合板 材質 珪藻合板 厚さ mm 9mm			C種	全面シート張り		
棟 名	構 造	階 数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備 考																																																																																																																											
7号館	鉄筋コンクリート造	地下1階 地上3階建て	960.50	2487.50																																																																																																																												
	部 数(ネガ1枚につき)	分 類 ・ 規 格	原 版 の 大 き さ (mm)																																																																																																																													
着 工 前	1	カラーサービス版	24×36以上																																																																																																																													
工 事 中	1	カラーサービス版	24×36以上																																																																																																																													
完 成 時	屋 内 ()箇所	カラーサービス版	24×36以上 60×70以上																																																																																																																													
	外 観 (2)箇所	カラーサービス版 カラーパネル半切	24×36以上 60×70以上																																																																																																																													
種 類	処 理 方 法																																																																																																																															
廃石綿等																																																																																																																																
P C Bを含む機器類																																																																																																																																
P C B含有シーリング																																																																																																																																
廃油																																																																																																																																
廃酸・廃アルカリ（臭化リチウム）																																																																																																																																
廃酸・廃アルカリ（蓄電池電解液）																																																																																																																																
S F 6ガス使用機器																																																																																																																																
工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																																																																																																															
仮設工事	とび作業																																																																																																																															
鉄筋工事	鉄筋組立作業																																																																																																																															
コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業																																																																																																																															
鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業																																																																																																																															
アルミ及びALCA工事	コンクリートポンプ工事作業 ALCA工事作業																																																																																																																															
カーテン工事	金属製カーテン工事作業 ビニールシート工事作業																																																																																																																															
防水工事	アクリル防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 改質アクリル樹脂工法防水工事作業																																																																																																																															
石工事	石張り作業																																																																																																																															
タイル工事	タイル張り作業																																																																																																																															
木工事	大工工事作業																																																																																																																															
屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業																																																																																																																															
金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業																																																																																																																															
左官工事	左官作業																																																																																																																															
塗装工事	建築塗装作業																																																																																																																															
建具工事	ビニールシート工事作業 ガラス工事作業 自動ドア工事作業																																																																																																																															
内装工事	プラスチック系床仕上げ工事作業 石膏仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 壁装作業																																																																																																																															
排水工事	建築配管作業																																																																																																																															
舗装工事	溶融ヒートドレマカ工事作業 加熱ヒートドレマカ工事作業																																																																																																																															
植栽工事	造園工事作業																																																																																																																															
種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填																																																																																																																													
A種	せっこうボード 種類 GB-R	なし 片面	グラスウール 24kg/m ³																																																																																																																													
B種	厚さ mm 9.5mm		厚さ 50mm																																																																																																																													
	合板 材質 珪藻合板 厚さ mm 9mm																																																																																																																															
C種	全面シート張り																																																																																																																															
章 項 目	特 記 事 項	Kyoto Prefectural University 京都府立大学事務局総務課		工 事 名	京都府立大学 7号館屋上防水改修工事		図 番																																																																																																																									
		設 計 番 号	令和4年4月	図 名	建築改修工事特記仕様書（1）		A-02 A-18 枚の内																																																																																																																									
					縮 尺																																																																																																																											

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																				
3 防水改修工事	<p>既存下地の処理 (3.2.6)</p> <p>2 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)</p> <p>保護防水工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P 1 B 工法</td> <td>B-1 B-2 B-3</td> <td>表3.3.3</td> </tr> <tr> <td>P 1 B I 工法 T 1 B I 工法</td> <td>BI-1 BI-2 BI-3</td> <td>表3.3.4</td> </tr> <tr> <td>P 2 A I 工法</td> <td>AI-1 AI-2 AI-3</td> <td>表3.3.5</td> </tr> <tr> <td>P 2 A 工法</td> <td>A-1 A-2 A-3</td> <td>表3.3.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>露出防水工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">防水層</th> <th rowspan="2">施 工 箇 所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M 4 C 工法</td> <td>C-1 C-2 C-3</td> <td>表3.3.7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>M 3 D 工法 P 0 D 工法</td> <td>D-1 D-2 D-3 D-4</td> <td>表3.3.8</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>露出防水絶縁断熱工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">防水層</th> <th rowspan="2">施 工 箇 所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P 0 D I 工法 M 3 D I 工法 M 4 D I 工法</td> <td>DI-1 DI-2</td> <td>表3.3.9</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>屋内防水工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P 1 E 工法 P 2 E 工法</td> <td>E-1 E-2</td> <td>表3.3.10</td> </tr> </tbody> </table> <p>断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm</p> <p>断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____</p> <p>ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____</p> <p>絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15 (保護防水工法) フラットヤンククロス (70g/㎡程度) (保護防水断熱工法)</p> <p>押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0</p> <p>立上り部の保護 乾式保護材 () 普通れんが(JIS R 1250) 化粧れんが(JIS R 1250) コンクリート(工法 _____)</p> <p>保護層 平場のコンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm</p> <p>コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種</p> <p>脱気装置 設ける 材 種 () 設置数量 (1箇所 / ㎡)</p> <p>伸縮調整目地 成形伸縮目地材 _____</p> <p>成形緩衝材 M-フック 類製造所の指定品 _____</p> <p>屋上排水溝 図示による _____</p>	種 別	防水層	施 工 箇 所	P 1 B 工法	B-1 B-2 B-3	表3.3.3	P 1 B I 工法 T 1 B I 工法	BI-1 BI-2 BI-3	表3.3.4	P 2 A I 工法	AI-1 AI-2 AI-3	表3.3.5	P 2 A 工法	A-1 A-2 A-3	表3.3.6	種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料		種類	使用量	M 4 C 工法	C-1 C-2 C-3	表3.3.7			M 3 D 工法 P 0 D 工法	D-1 D-2 D-3 D-4	表3.3.8			種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料		種類	使用量	P 0 D I 工法 M 3 D I 工法 M 4 D I 工法	DI-1 DI-2	表3.3.9			種 別	防水層	施 工 箇 所	P 1 E 工法 P 2 E 工法	E-1 E-2	表3.3.10	<p>3 防水改修工事</p> <p>合成高分子系M-フックシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)</p> <p>脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / ㎡)</p> <p>防湿層 (露出防水絶縁断熱工法) 設ける 設けない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">防水層</th> <th rowspan="2">施 工 箇 所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P 0 S 工法 S 4 S 工法 P 0 S I 工法 S 4 S I 工法</td> <td>S(1)-F1 PC部材入隅増強 (有り 無し) S(1)-F2 S(1)-M1 S(1)-M2 S(1)-M3</td> <td>表3.5.1 表3.5.2 表3.5.3</td> <td>屋上立上り平場</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S 3 S 工法 S 3 S I 工法</td> <td>S(1)-F1 PC部材入隅増強 (有り 無し) S(1)-F2</td> <td>表3.5.2 表3.5.3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>M 4 S 工法 M 4 S I 工法</td> <td>S(1)-M1 S(1)-M2 S(1)-M3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>P I S 工法</td> <td>S-C1</td> <td></td> <td>砂%塗り厚さ _____ mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 _____ 接着工法の場合 _____</p> <p>S - M 2 S I - M 2 の場合で立上りが接着工法の場合 立上り面のシートの厚さ 1.5 mm _____ mm S I - M 1 及び S I - M 2 の場合の防湿用フィルム 設置する</p> <p>接着工法の場合で、PCコンクリート部材下地の場合 目地処理 図示による _____ 入隅部の増張り (S-F 1、S-I-F 1 の場合) 図示による _____ 絶縁用シート 発泡ポリエチレンシート _____ 仕上げ塗料 加- _____ シル- _____ 脱気装置 (接着工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / ㎡) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 固定金具の材質及び寸法形状 防錆処理した鋼板、スチール鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの _____</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 別 及 び 工 程</th> <th rowspan="2">防水層</th> <th rowspan="2">施 工 箇 所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P 0 X 工法 L 4 X 工法</td> <td>X-1 X-2 X-1 X-2</td> <td>表3.6.1</td> <td>屋上立上り平場</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P 1 Y 工法 P 2 Y 工法</td> <td>Y-2 _____</td> <td>表3.6.2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置(X-1) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / ㎡)</p> <p>保護層 設ける 設けない</p> <p>漏水試験 水張り試験を行う (屋内 屋外)</p> <p>保証書 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。)</p> <p>施工標識 工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 真鍮製エッチング仕上 150×100 _____ 設置数量 (1) 箇所</p> <p>シーリング シーリング材の種類 改修仕様表3.7.1による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改 修 工 法 の 種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シーリング充填工法</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>シーリング再充填工法</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>拡幅シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブリッジ工法</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 幅20mm以上、深さ10mm以上 _____ ガラス回りの目地 幅5mm以上、深さ5mm以上 _____ その他の目地 幅10mm以上、深さ10mm以上 _____</p> <p>シーリングの試験 簡易接着性試験 (部位 _____) 引張接着性試験 (部位 _____)</p>	種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料		種類	使用量	P 0 S 工法 S 4 S 工法 P 0 S I 工法 S 4 S I 工法	S(1)-F1 PC部材入隅増強 (有り 無し) S(1)-F2 S(1)-M1 S(1)-M2 S(1)-M3	表3.5.1 表3.5.2 表3.5.3	屋上立上り平場		S 3 S 工法 S 3 S I 工法	S(1)-F1 PC部材入隅増強 (有り 無し) S(1)-F2	表3.5.2 表3.5.3			M 4 S 工法 M 4 S I 工法	S(1)-M1 S(1)-M2 S(1)-M3				P I S 工法	S-C1		砂%塗り厚さ _____ mm		種 別 及 び 工 程	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料		種類	使用量	P 0 X 工法 L 4 X 工法	X-1 X-2 X-1 X-2	表3.6.1	屋上立上り平場		P 1 Y 工法 P 2 Y 工法	Y-2 _____	表3.6.2			改 修 工 法 の 種 別	施 工 箇 所	シーリング充填工法	図示	シーリング再充填工法	図示	拡幅シーリング再充填工法		ブリッジ工法		<p>3 防水改修工事</p> <p>とい(雨水) (3.8.2) (3.8.3)</p> <p>外とい(外気に接するとい)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 種</th> <th>そ の 他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ルーフトレン</td> <td>ルーフトレン (JCW 301) 取付け 水はけ良く、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する (前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm</td> </tr> <tr> <td>軒どい</td> <td>硬質塩化ビニル製 (角形) (カラー) 巾150mm</td> </tr> <tr> <td>たてとい</td> <td>硬質塩化ビニル管 (VP) (カラー) 径 75mm</td> </tr> <tr> <td>谷どい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>とい受け金物、足金物</td> <td>改修仕様表 3.8.2 により溶融垂鉛めっきを行ったもの 多雪地域の軒とこの取付間隔 0.5m 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>内とい (VP管は使用しない)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 質</th> <th>そ の 他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>たてとい及び横走り管</td> <td>SGP 径 75mm</td> </tr> <tr> <td>とい受け金物、足金物</td> <td>改修仕様表 3.8.2 により溶融垂鉛めっきを行ったもの 多雪地域の軒とこの取付間隔 0.5m 以下</td> </tr> <tr> <td>防露巻き</td> <td>改修仕様表3.8.3による F</td> </tr> </tbody> </table> <p>掃除口を設ける (開放性のある自転車置き場のといを除く) 養生鉄管を設ける (径 _____ 厚さ _____ 長さ _____) 既存といの撤去及び養生 () 鋼管製といの防露巻き (改修仕様表3.8.4 による _____) たてとい受金物 ()</p> <p>(表3.9.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>幅</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表 面 処 理</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">250 形</td> <td>240</td> <td>1.6</td> <td>AB-1種 AB-2種</td> <td rowspan="2">隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所造の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>250</td> <td></td> <td>AC-1種 AC-2種</td> </tr> <tr> <td>300 形</td> <td>300</td> <td>1.8</td> <td>BA-1種 BA-2種</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>350 形</td> <td>350</td> <td>2.0</td> <td>BB-1種 BB-2種</td> </tr> <tr> <td>400 形</td> <td>400</td> <td>2.0</td> <td>BC-1種 BC-2種</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>曲げ材</td> <td>_____</td> <td>2.0</td> <td>C種</td> </tr> <tr> <td>オープン形</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ツル形</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>既存笠木等の撤去 行う (範囲 図示 _____) 行わない 図示 _____</p> <p>下地補修の工法 板材折曲げ形の笠木取付方法 図示 _____ 建築基準法に基づく風圧力・積雪荷重に対応した工法 図示による _____</p>	材 種	そ の 他	ルーフトレン	ルーフトレン (JCW 301) 取付け 水はけ良く、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する (前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm	軒どい	硬質塩化ビニル製 (角形) (カラー) 巾150mm	たてとい	硬質塩化ビニル管 (VP) (カラー) 径 75mm	谷どい		とい受け金物、足金物	改修仕様表 3.8.2 により溶融垂鉛めっきを行ったもの 多雪地域の軒とこの取付間隔 0.5m 以下	材 質	そ の 他	たてとい及び横走り管	SGP 径 75mm	とい受け金物、足金物	改修仕様表 3.8.2 により溶融垂鉛めっきを行ったもの 多雪地域の軒とこの取付間隔 0.5m 以下	防露巻き	改修仕様表3.8.3による F	種 類	幅	板厚(mm)	表 面 処 理	備 考	250 形	240	1.6	AB-1種 AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所造の仕様による。	250		AC-1種 AC-2種	300 形	300	1.8	BA-1種 BA-2種		350 形	350	2.0	BB-1種 BB-2種	400 形	400	2.0	BC-1種 BC-2種		曲げ材	_____	2.0	C種	オープン形	_____	_____			ツル形	_____	_____			<p>Kyoto Prefectural University 京都府立大学事務局総務課</p> <p>設計番号 令和4年4月</p> <p>中村設計 豊田和弘 一級建築士事務所 京都府(03A)第00956号 一級建築士 第193262号</p> <p>工事名 京都府立大学 7号館屋上防水改修工事</p> <p>図 番 A-03</p> <p>図名 建築改修工事特記仕様書(2)</p> <p>縮尺</p> <p>A-18 枚の内</p>
	種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																																																						
	P 1 B 工法	B-1 B-2 B-3	表3.3.3																																																																																																																																																																						
P 1 B I 工法 T 1 B I 工法	BI-1 BI-2 BI-3	表3.3.4																																																																																																																																																																							
P 2 A I 工法	AI-1 AI-2 AI-3	表3.3.5																																																																																																																																																																							
P 2 A 工法	A-1 A-2 A-3	表3.3.6																																																																																																																																																																							
種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料																																																																																																																																																																						
			種類	使用量																																																																																																																																																																					
M 4 C 工法	C-1 C-2 C-3	表3.3.7																																																																																																																																																																							
M 3 D 工法 P 0 D 工法	D-1 D-2 D-3 D-4	表3.3.8																																																																																																																																																																							
種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料																																																																																																																																																																						
			種類	使用量																																																																																																																																																																					
P 0 D I 工法 M 3 D I 工法 M 4 D I 工法	DI-1 DI-2	表3.3.9																																																																																																																																																																							
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																																																							
P 1 E 工法 P 2 E 工法	E-1 E-2	表3.3.10																																																																																																																																																																							
種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料																																																																																																																																																																						
			種類	使用量																																																																																																																																																																					
P 0 S 工法 S 4 S 工法 P 0 S I 工法 S 4 S I 工法	S(1)-F1 PC部材入隅増強 (有り 無し) S(1)-F2 S(1)-M1 S(1)-M2 S(1)-M3	表3.5.1 表3.5.2 表3.5.3	屋上立上り平場																																																																																																																																																																						
S 3 S 工法 S 3 S I 工法	S(1)-F1 PC部材入隅増強 (有り 無し) S(1)-F2	表3.5.2 表3.5.3																																																																																																																																																																							
M 4 S 工法 M 4 S I 工法	S(1)-M1 S(1)-M2 S(1)-M3																																																																																																																																																																								
P I S 工法	S-C1		砂%塗り厚さ _____ mm																																																																																																																																																																						
種 別 及 び 工 程	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料																																																																																																																																																																						
			種類	使用量																																																																																																																																																																					
P 0 X 工法 L 4 X 工法	X-1 X-2 X-1 X-2	表3.6.1	屋上立上り平場																																																																																																																																																																						
P 1 Y 工法 P 2 Y 工法	Y-2 _____	表3.6.2																																																																																																																																																																							
改 修 工 法 の 種 別	施 工 箇 所																																																																																																																																																																								
シーリング充填工法	図示																																																																																																																																																																								
シーリング再充填工法	図示																																																																																																																																																																								
拡幅シーリング再充填工法																																																																																																																																																																									
ブリッジ工法																																																																																																																																																																									
材 種	そ の 他																																																																																																																																																																								
ルーフトレン	ルーフトレン (JCW 301) 取付け 水はけ良く、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する (前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm																																																																																																																																																																								
軒どい	硬質塩化ビニル製 (角形) (カラー) 巾150mm																																																																																																																																																																								
たてとい	硬質塩化ビニル管 (VP) (カラー) 径 75mm																																																																																																																																																																								
谷どい																																																																																																																																																																									
とい受け金物、足金物	改修仕様表 3.8.2 により溶融垂鉛めっきを行ったもの 多雪地域の軒とこの取付間隔 0.5m 以下																																																																																																																																																																								
材 質	そ の 他																																																																																																																																																																								
たてとい及び横走り管	SGP 径 75mm																																																																																																																																																																								
とい受け金物、足金物	改修仕様表 3.8.2 により溶融垂鉛めっきを行ったもの 多雪地域の軒とこの取付間隔 0.5m 以下																																																																																																																																																																								
防露巻き	改修仕様表3.8.3による F																																																																																																																																																																								
種 類	幅	板厚(mm)	表 面 処 理	備 考																																																																																																																																																																					
250 形	240	1.6	AB-1種 AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所造の仕様による。																																																																																																																																																																					
	250		AC-1種 AC-2種																																																																																																																																																																						
300 形	300	1.8	BA-1種 BA-2種																																																																																																																																																																						
350 形	350	2.0	BB-1種 BB-2種																																																																																																																																																																						
400 形	400	2.0	BC-1種 BC-2種																																																																																																																																																																						
曲げ材	_____	2.0	C種																																																																																																																																																																						
オープン形	_____	_____																																																																																																																																																																							
ツル形	_____	_____																																																																																																																																																																							
3 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)	<p>露出防水密着工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M 4 A S 工法</td> <td>AS-T1 AS-T2 AS-J2</td> <td>表3.4.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>露出防水絶縁工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">防水層</th> <th rowspan="2">施 工 箇 所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M 3 A S 工法 P 0 A S 工法</td> <td>AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3</td> <td>表3.4.2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>露出防水絶縁断熱工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">防水層</th> <th rowspan="2">施 工 箇 所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M 3 A S I 工法 M 4 A S I 工法 P 0 A S I 工法</td> <td>ASI-T1 ASI-J1</td> <td>表3.4.3</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>押え金物の材質、形状及び寸法 アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 _____</p> <p>断熱材 (露出防水絶縁断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____</p>	種 別	防水層	施 工 箇 所	M 4 A S 工法	AS-T1 AS-T2 AS-J2	表3.4.1	種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料		種類	使用量	M 3 A S 工法 P 0 A S 工法	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	表3.4.2			種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料		種類	使用量	M 3 A S I 工法 M 4 A S I 工法 P 0 A S I 工法	ASI-T1 ASI-J1	表3.4.3			<p>3 防水改修工事</p> <p>塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3)</p> <p>シーリング (3.7.2) ~ (3.7.8)</p>	<p>3 防水改修工事</p> <p>アルミニウム製 笠木 (3.9.2) (3.9.3)</p>																																																																																																																																								
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																																																							
M 4 A S 工法	AS-T1 AS-T2 AS-J2	表3.4.1																																																																																																																																																																							
種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料																																																																																																																																																																						
			種類	使用量																																																																																																																																																																					
M 3 A S 工法 P 0 A S 工法	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	表3.4.2																																																																																																																																																																							
種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料																																																																																																																																																																						
			種類	使用量																																																																																																																																																																					
M 3 A S I 工法 M 4 A S I 工法 P 0 A S I 工法	ASI-T1 ASI-J1	表3.4.3																																																																																																																																																																							



工事場所：京都市左京区下鴨半木町1-5

付近見取図 1/2,000









- 凡例
- ***** 用途地域を示す
 - | |
|------|
| 容積率 |
| 高度地区 |
| 建ぺい率 |
 - : 工事場所を示す

- 都市計画制限
- 用途地域 : 第二種中高層住居専用地域
 - 防火地域 : 法第22条区域
 - 高度地区 : 20m第一種高度地区
 - 景観保全 : 山並み背景型建造物修景地区
 - 眺望景観 : 近景・遠景デザイン保全区域

Kyoto Prefectural University 京都府立大学事務局総務課 設計番号 令和4年4月	中村設計 <small>豊田和弘 一級建築士事務所 京都府(03A)第00956号</small>	工事名 府立大学 7号館屋上防水改修工事 図名 付近見取図 縮尺 A2:1/5,000	図番 A-04 A-18 枚の内
---	---	---	---------------------------

【 凡 例 】

仮設計画作成のうえ監督員の承諾を受けた後、施工する。

-  ... 工事対象建物を示す。
-  ... 工事車両仮設駐車場を示す。
-  ... フェンスバリケードH1800設置を示す。上部養生シート張り・下部は幅木設置。
-  ... ガードマン設置位置を示す。
-  ... 工事進入口を示す。
-  ... 工事関係者出入口を示す。
-  ... 生徒・教職員等 一般出入口を示す。
-  ... 工事車両動線を示す。

【 特 記 事 項 】

(仮設計画)

- 工事期間中も講義が行われるため、騒音工事等は配慮して施工すること。
- 出入口、通路等と外部仮設が交差する部分は、コンパネ及び金網柵等により落下防止・進入防止の養生を行うこと。
- 仮囲い範囲は大学と事前に協議を行い決定すること。

(その他)

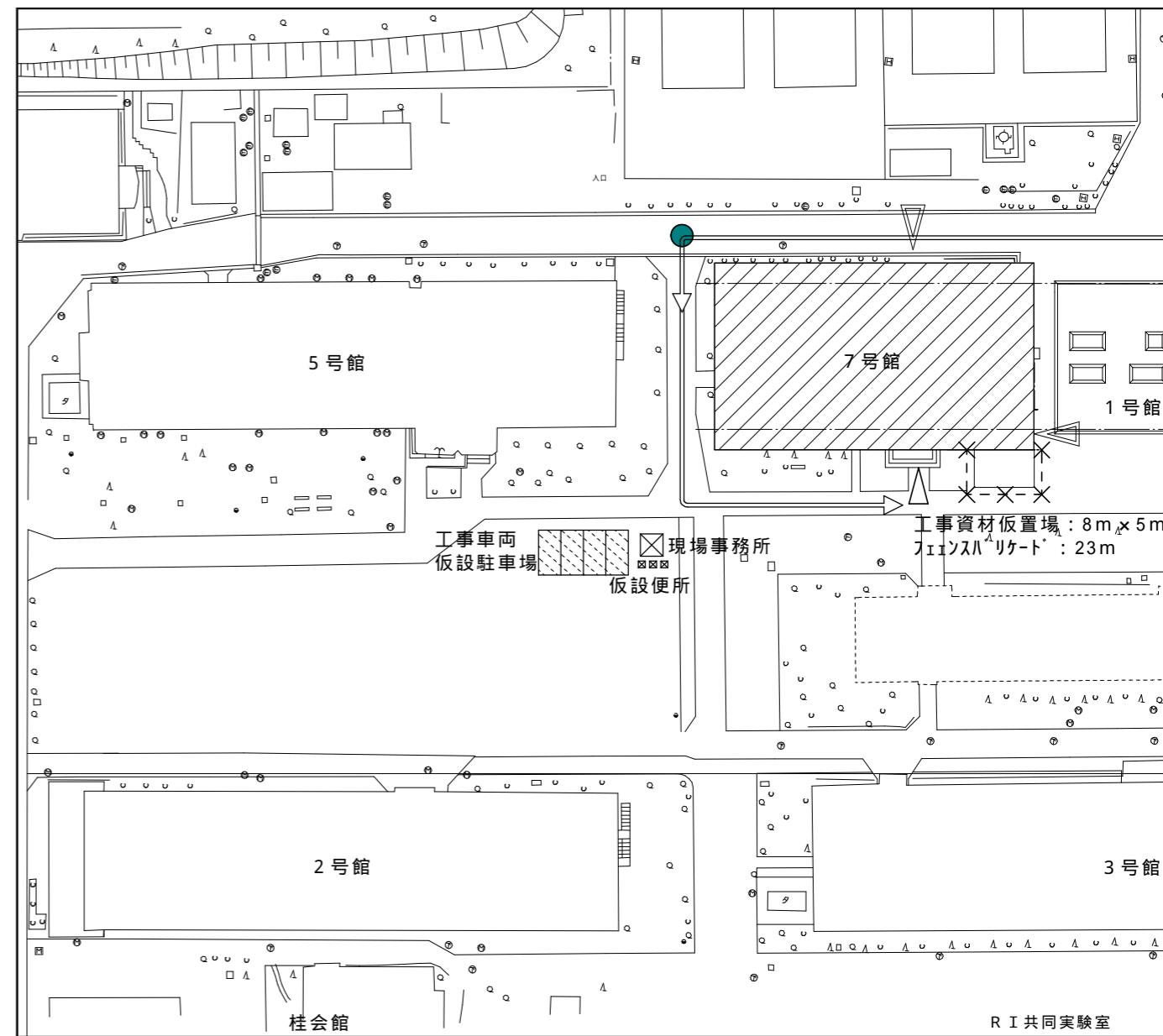
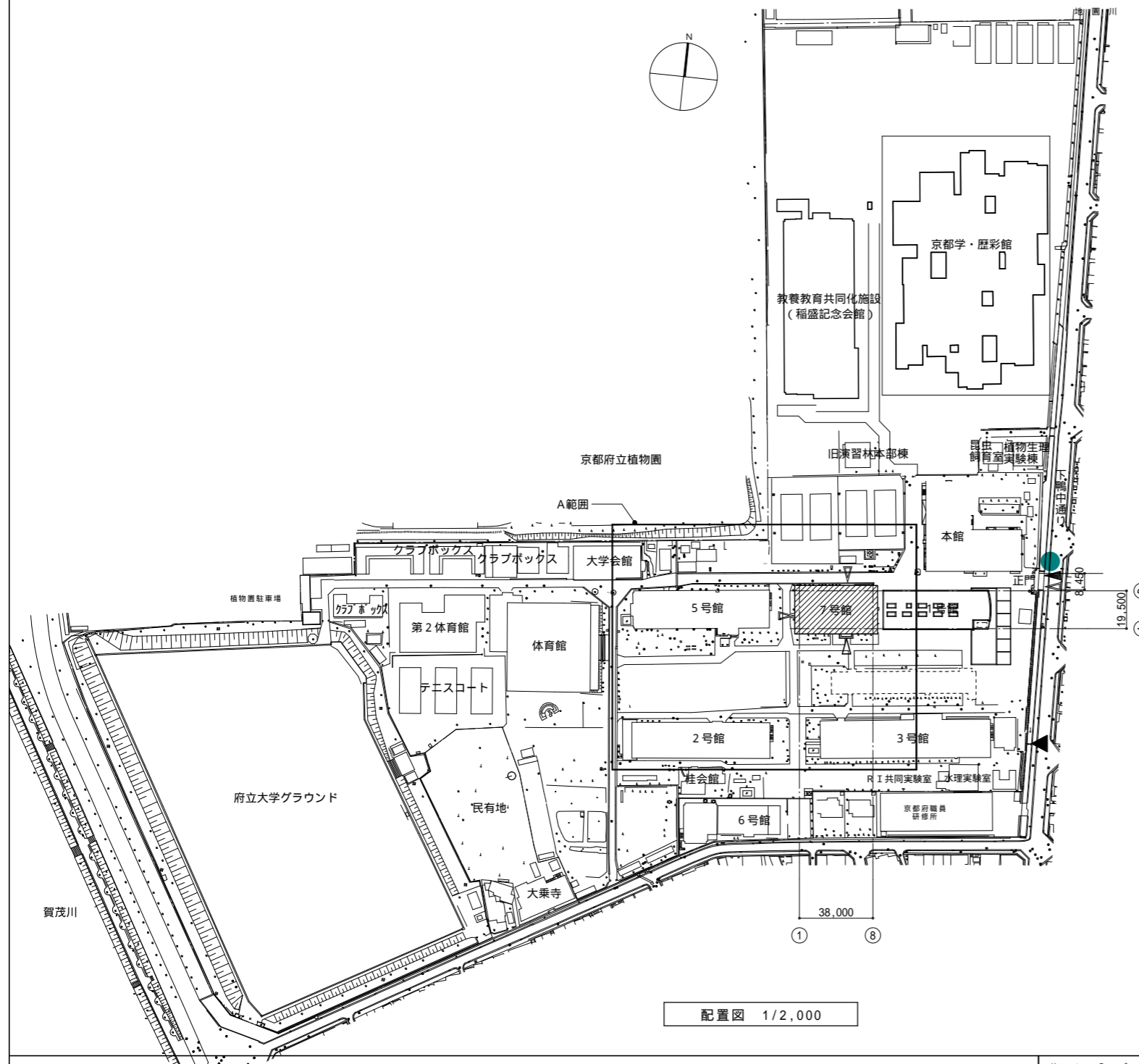
- 施工中は周辺への騒音や臭気等に十分注意すること。
- 可燃物(塗料材等)は防火防犯のため、毎日持ち帰ること。
- 施工日時・作業時間等については、大学運営に支障をきたさないよう、監督職員と協議のうえ決定すること。

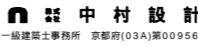
(資材搬入)

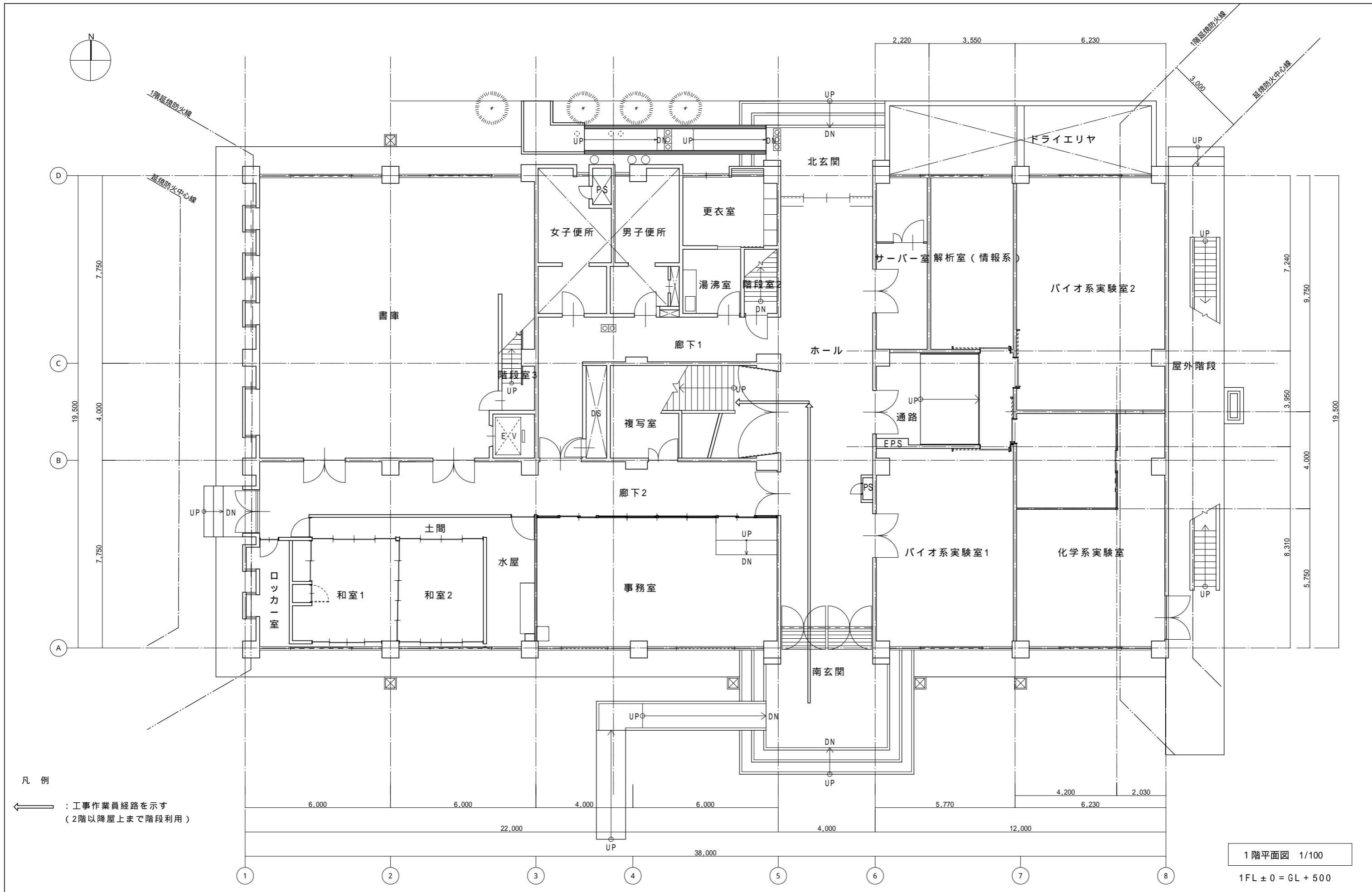
- 資材搬入や撤去材搬出でレッカー車等大型車が進入する場合は、事前に監督職員と協議のうえ決定すること。
- 工事車両の進入口には、交通誘導員を配置し、レッカー車使用作業他、安全対策上必要な場合は適宜増員すること。
- 工事車両進入経路にある床、側溝、会所及び設備マンホール等については、工事車両の通行により損傷しない様に、適宜養生を行うこと。破損した場合は、復旧すること。
- 側溝、舗装、インターロックブロック等に重車両が通過する場合は、必要に応じて鉄板その他により養生を行うこと。また、側溝、舗装、インターロックブロック等を損傷した場合は現状復旧を行うこと。

(汚損・破損)

- 施工にあたっては、施工以外の部分に事故、汚損のないよう十分注意し、事故汚損があった場合は受注者において、速やかに現状復旧及び処理をすること。
- 既設植栽等は養生とし、工事完了後整地清掃を行うこと。



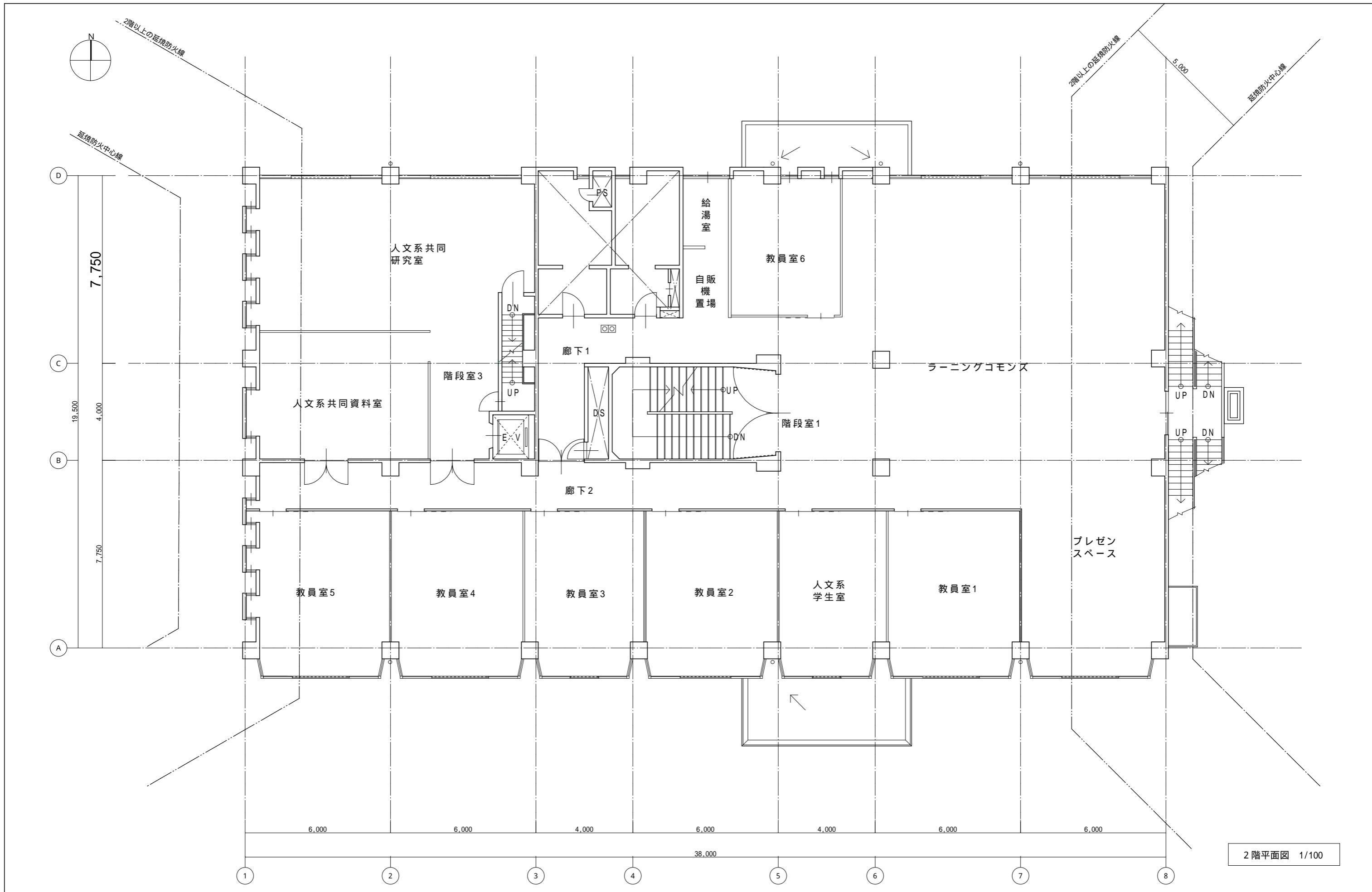
Kyoto Prefectural University 京都府立大学事務局総務課		 中村設計 豊田和弘 <small>一級建築士事務所 京都府(03A)第00956号 一級建築士 第19326号</small>		工事名 府立大学 7号館屋上防水改修工事	図番 A-05
設計番号 令和4年4月		図名 配置図		縮尺 A2: 1/2,000	枚数 A-18 枚の内



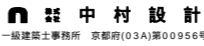
凡例
 ← : 工事作業員経路を示す
 (2階以降屋上まで階段利用)

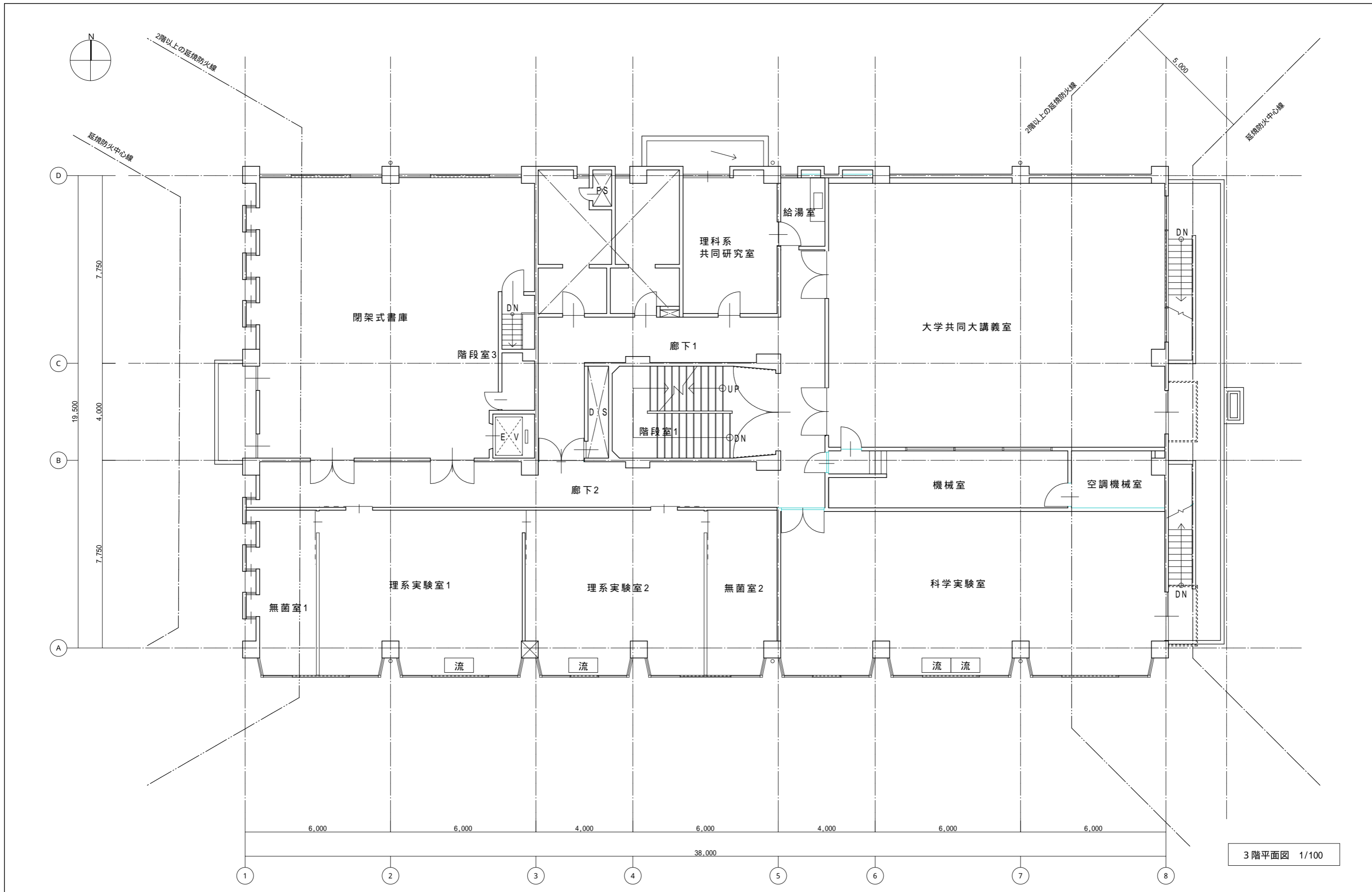
1階平面図 1/100
 1FL ± 0 = GL + 500

Kyoto Prefectural University 京都府立大学事務局総務課		豊田和弘 <small>一級建築士事務所 京都府(03A)第00956号</small>	工事名	京都府立大学 7号館屋上防水改修工事		図番	A-06
設計番号 令和4年4月			図名	1階平面図(参考)		縮尺	A2:1/100



2階平面図 1/100

Kyoto Prefectural University 京都府立大学事務局総務課		 中村設計 <small>豊田和弘 一級建築士事務所 京都府(03A)第00956号 豊田和弘 一級建築士 第193262号</small>	工事名	京都府立大学 7号館屋上防水改修工事		図番	A-07
設計番号	令和4年4月		図名	2階平面図(参考)	縮尺	A2:1/100	A-18 枚の内



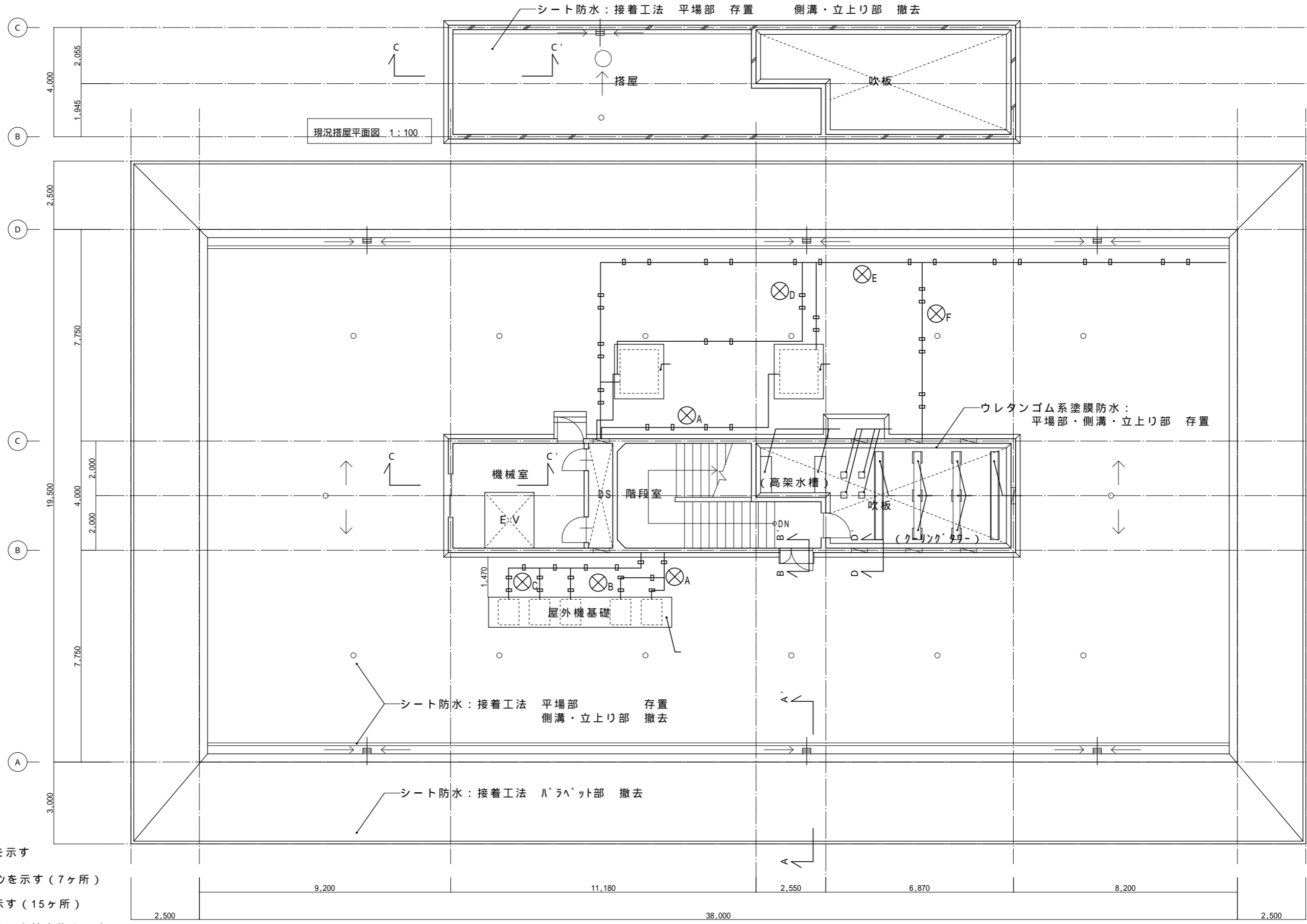
Kyoto Prefectural University	
京都府立大学事務局総務課	
設計番号	令和4年4月

中村設計	
豊田和弘	
一級建築士事務所 京都府(03A)第00956号	

工事名	京都府立大学 7号館屋上防水改修工事
図名	3階平面図(参考)

縮尺	A2:1/100
----	----------

図番	A-08
	A-18
	枚の内



現況搭屋平面図 1:100

ウレタンゴム系塗膜防水:
平場部・側溝・立上り部 存置

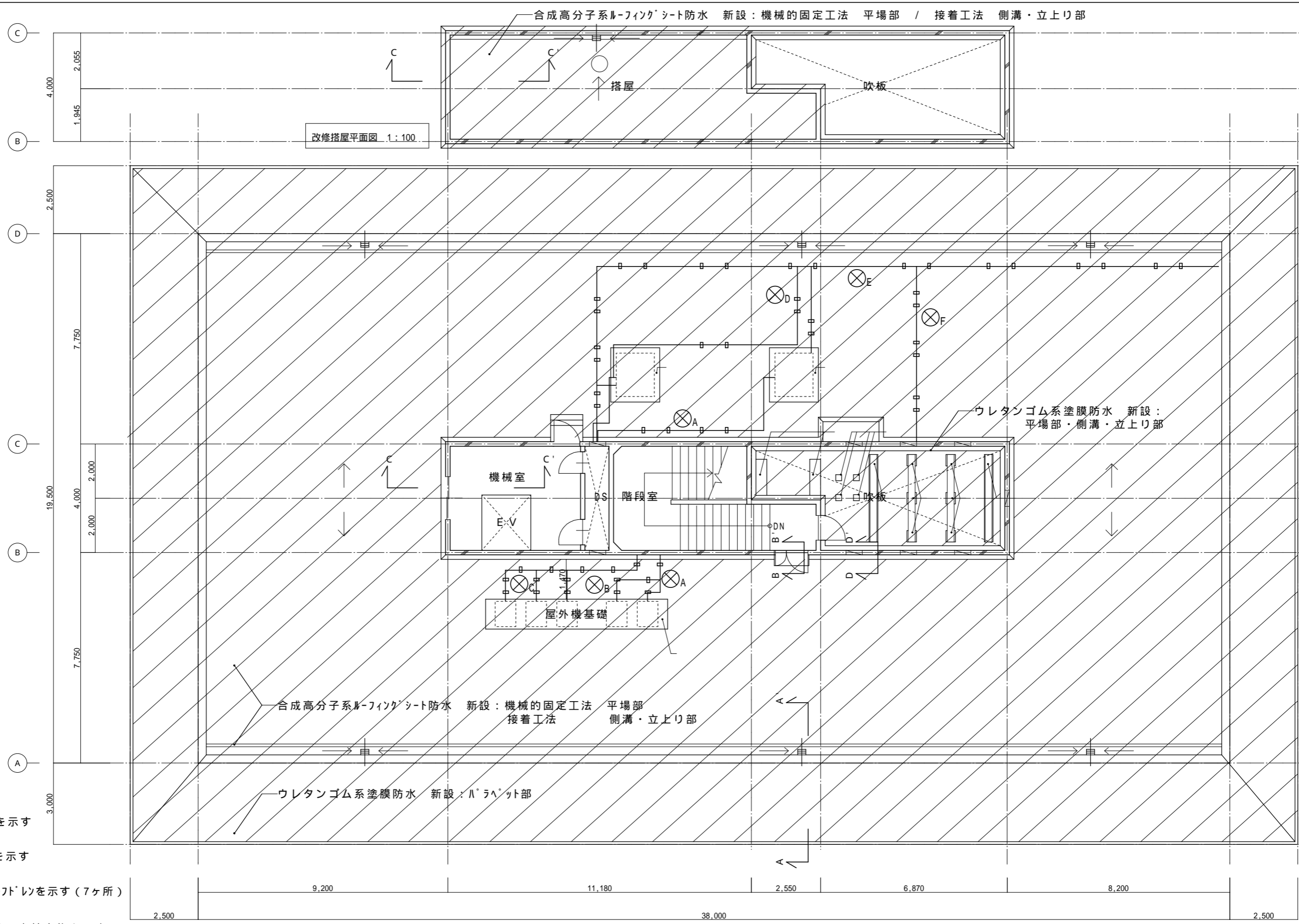
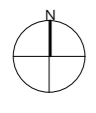
シート防水: 接着工法 平場部 存置
側溝・立上り部 撤去

シート防水: 接着工法 平場部 撤去

- 【凡例】
- ↑ : 断面切断位置を示す
 - ≡ : 横引きルーフトレイを示す (7ヶ所)
 - : 脱気筒撤去を示す (15ヶ所)
 - ⊗ : 設備配管・支持金物を示す
一時撤去・復旧 シゃッキアップ
(数量・寸法は詳細図参照)
 - ~ : 設備基礎を示す (改修概要は詳細図参照)

現況屋上平面図 1/100

Kyoto Prefectural University 京都府立大学事務局総務課		 中村設計 <small>豊田和弘 一級建築士事務所 京都府(03A)第00956号 一級建築士 第193262号</small>	工事名 京都府立大学 7号館屋上防水改修工事	図番 A-09
設計番号 令和4年4月	図名 現況屋上階平面図・現況搭屋平面図		縮尺 A2:1/100	A-18 枚の内



改修搭屋平面図 1:100

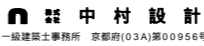
改修屋上平面図 1/100

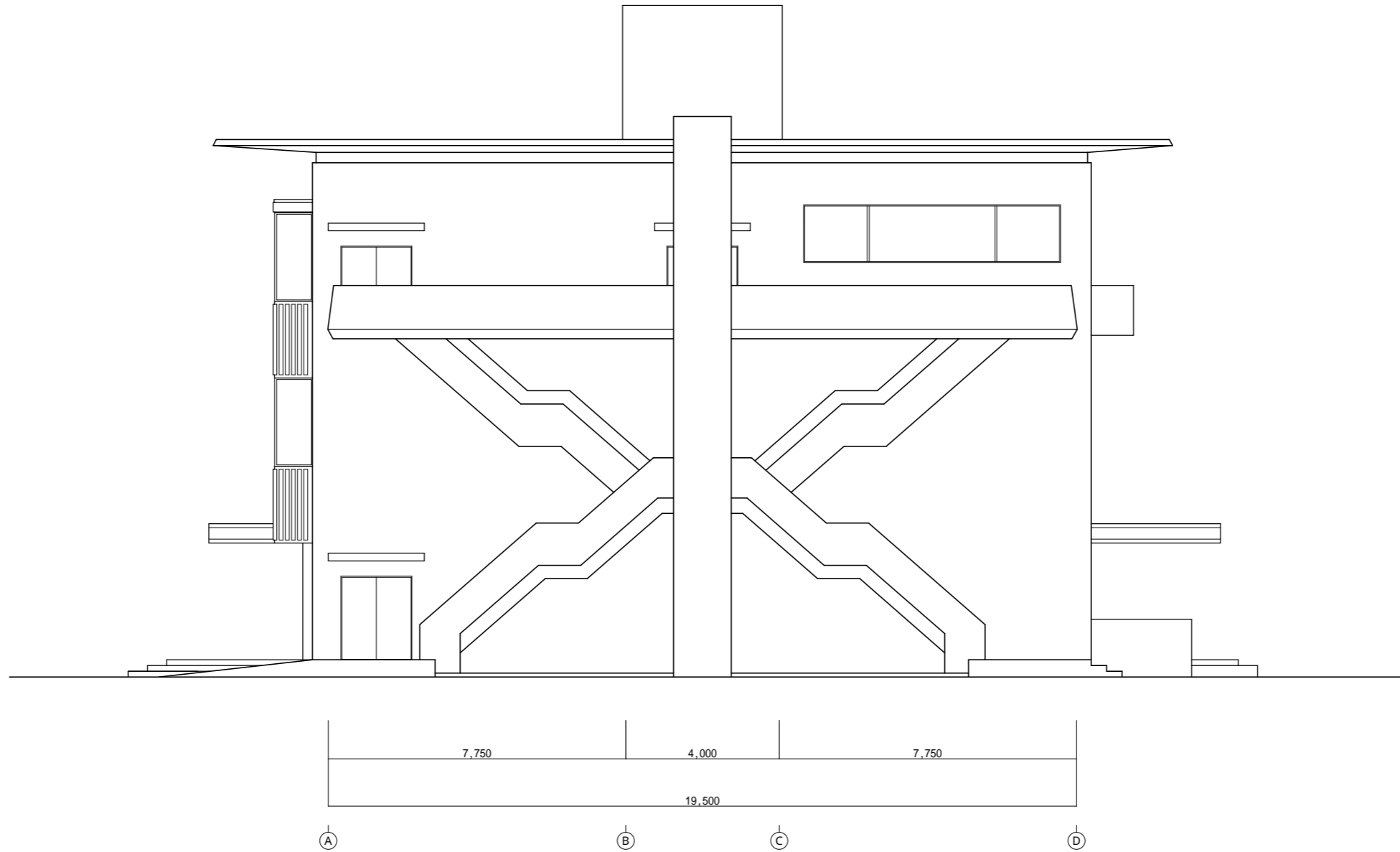
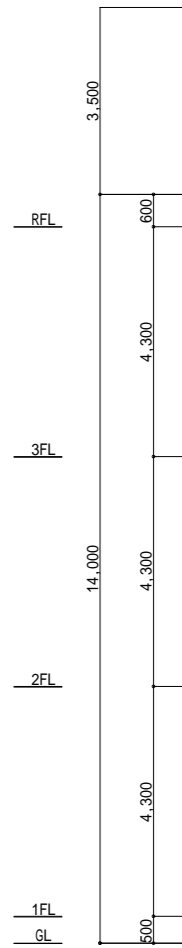
- 【凡例】
- : 防水改修範囲を示す
 - : 断面切断位置を示す
 - : 改修用横引きルーフトレイを示す(7ヶ所)
 - : 設備配管・支持金物を示す
一時撤去・復旧 シゃッキアップ
(数量・寸法は詳細図参照)
 - : 設備基礎を示す(改修概要は詳細図参照)

Kyoto Prefectural University 京都府立大学事務局総務課		中村設計 豊田和弘 <small>一級建築士事務所 京都府(03A)第00956号 一級建築士 第193262号</small>	工事名 京都府立大学 7号館屋上防水改修工事	図番 A-10
設計番号 令和4年4月	図名 改修屋上階平面図・改修搭屋平面図		縮尺 A2:1/100	A-18 枚の内

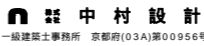


北立面図 1/100

		Kyoto Prefectural University 京都府立大学事務局総務課		 中村設計 <small>豊田和弘 豊田和弘</small>		工事名 京都府立大学 7号館屋上防水改修工事		図番 A-11 / A-18 枚の内	
		設計番号 令和4年4月		<small>一級建築士事務所 京都府(03A)第00956号</small>		図名 北立面図(参考)		縮尺 A2:1/100	

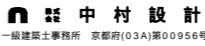


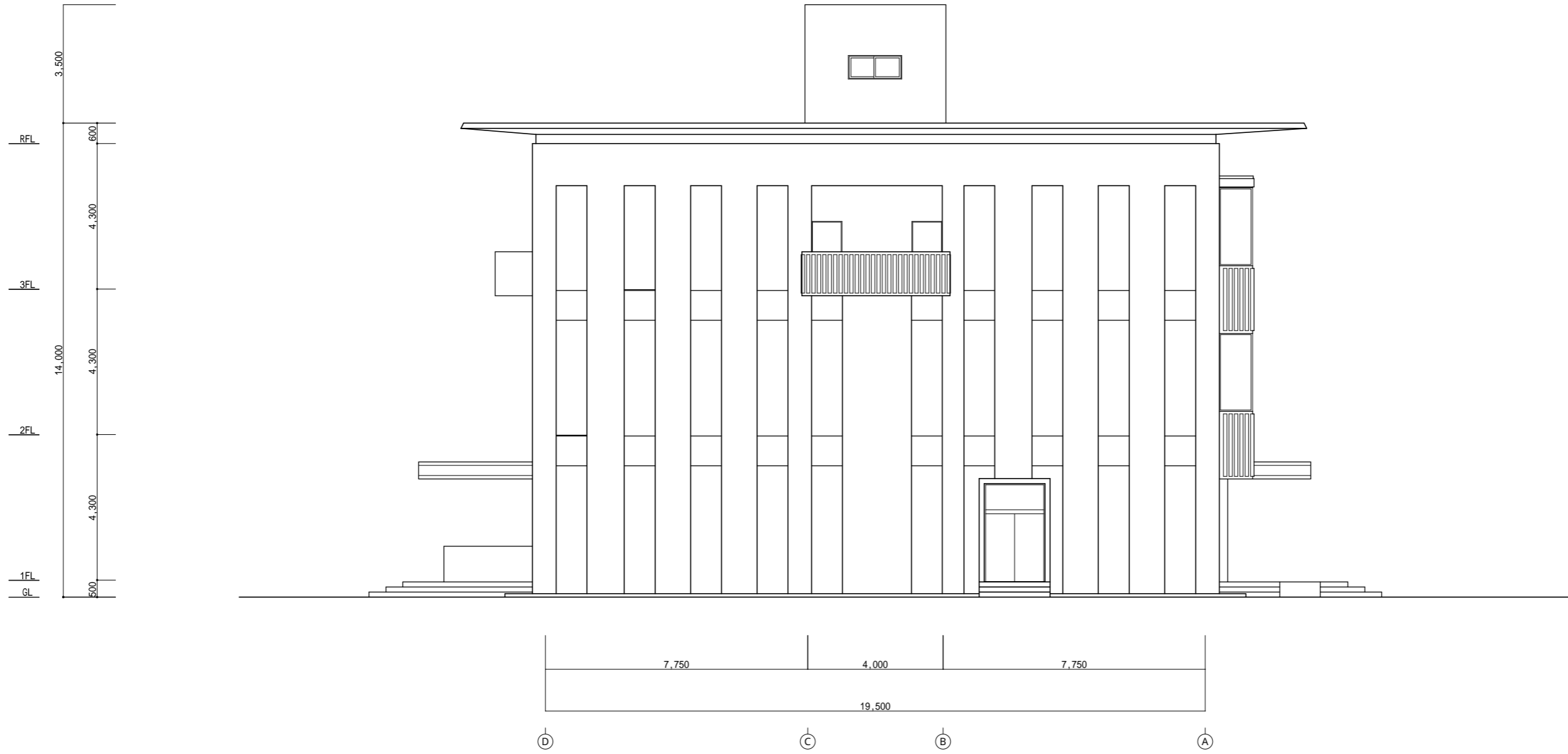
東立面図 1/100

		Kyoto Prefectural University 京都府立大学事務局総務課		 中村設計 <small>豊田和弘 豊田和弘</small>		工事名 京都府立大学 7号館屋上防水改修工事		図番 A-12 / A-18 枚の内	
		設計番号 令和4年4月				図名 東立面図(参考)		縮尺 A2:1/100	

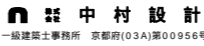


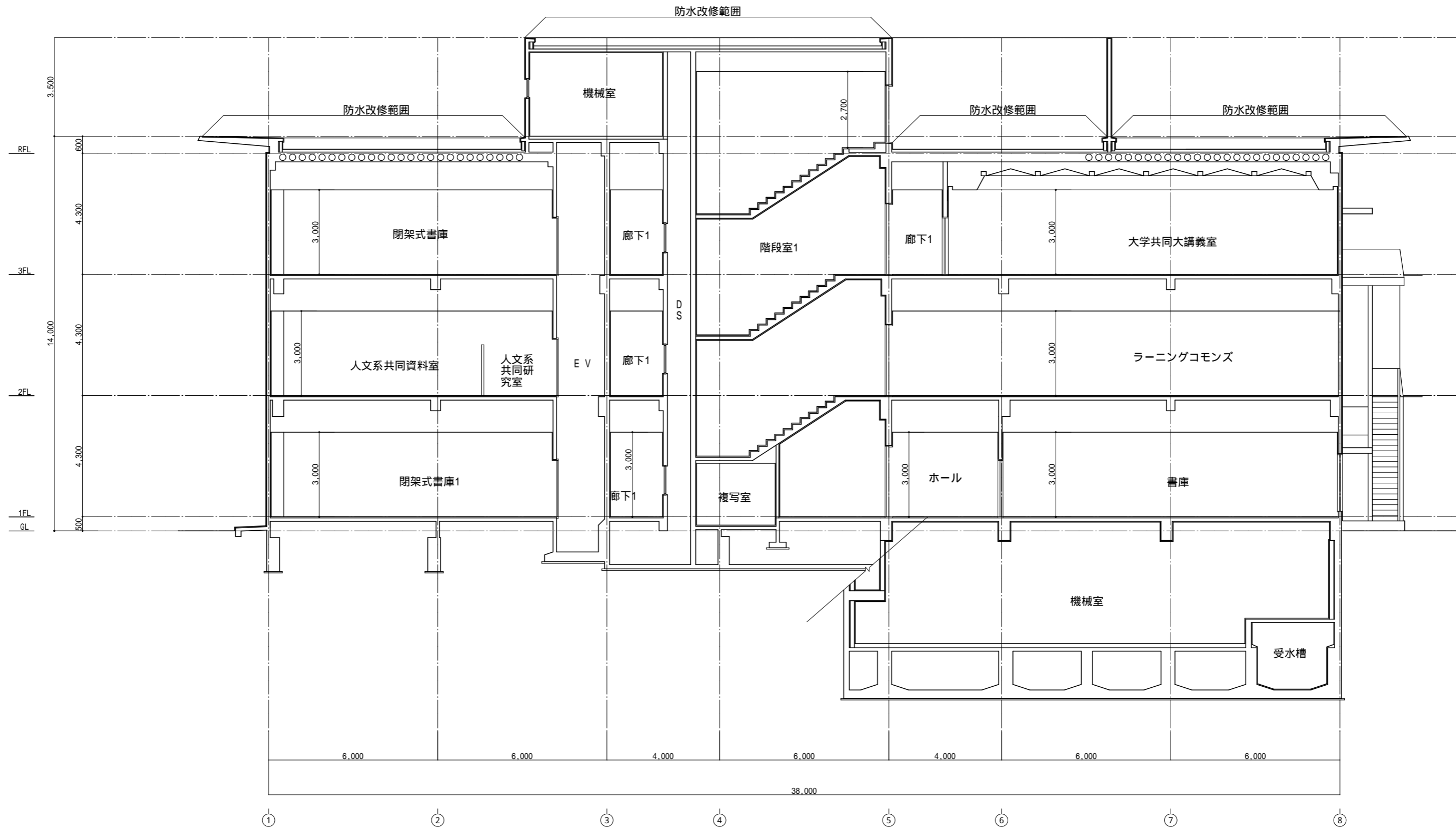
南立面図 1/100

Kyoto Prefectural University 京都府立大学事務局総務課		 中村設計 <small>豊田和弘 豊田和弘</small> <small>一級建築士事務所 京都府(03A)第00956号 一級建築士 第193262号</small>	工事名 京都府立大学 7号館屋上防水改修工事	図番 A-13
設計番号 令和4年4月			図名 南立面図(参考)	縮尺 A2:1/100



西立面図 1/100

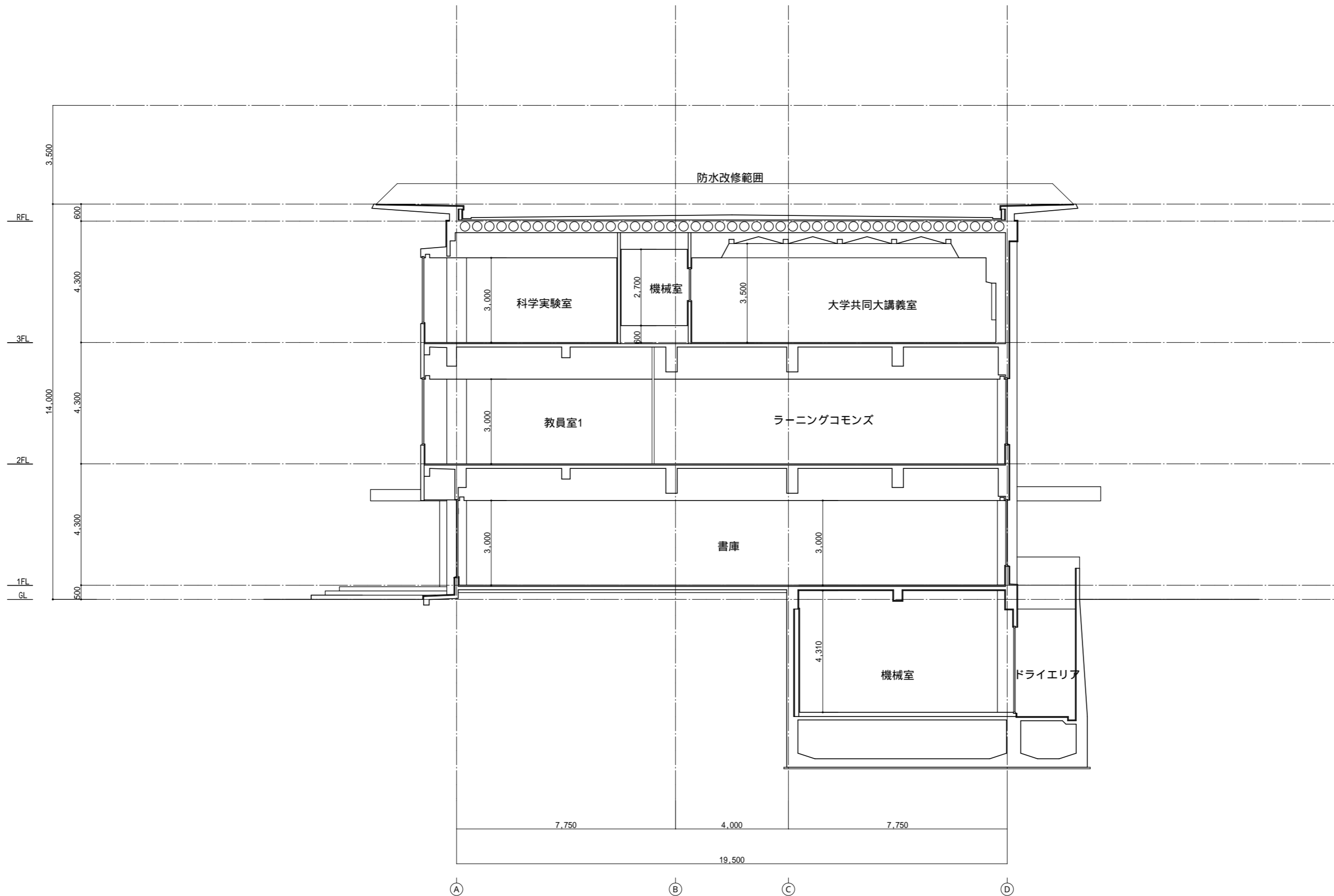
		Kyoto Prefectural University 京都府立大学事務局総務課		 中村設計 <small>豊田和弘 豊田和弘</small> <small>一級建築士事務所 京都府(03A)第00956号 一級建築士 第193262号</small>		工事名 京都府立大学 7号館屋上防水改修工事		図番 A-14 / A-18 枚の内	
		設計番号 令和4年4月				図名 西立面図(参考)		縮尺 A2:1/100	

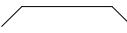


凡例
 : 防水改修範囲を示す


東 - 西断面図 1/100

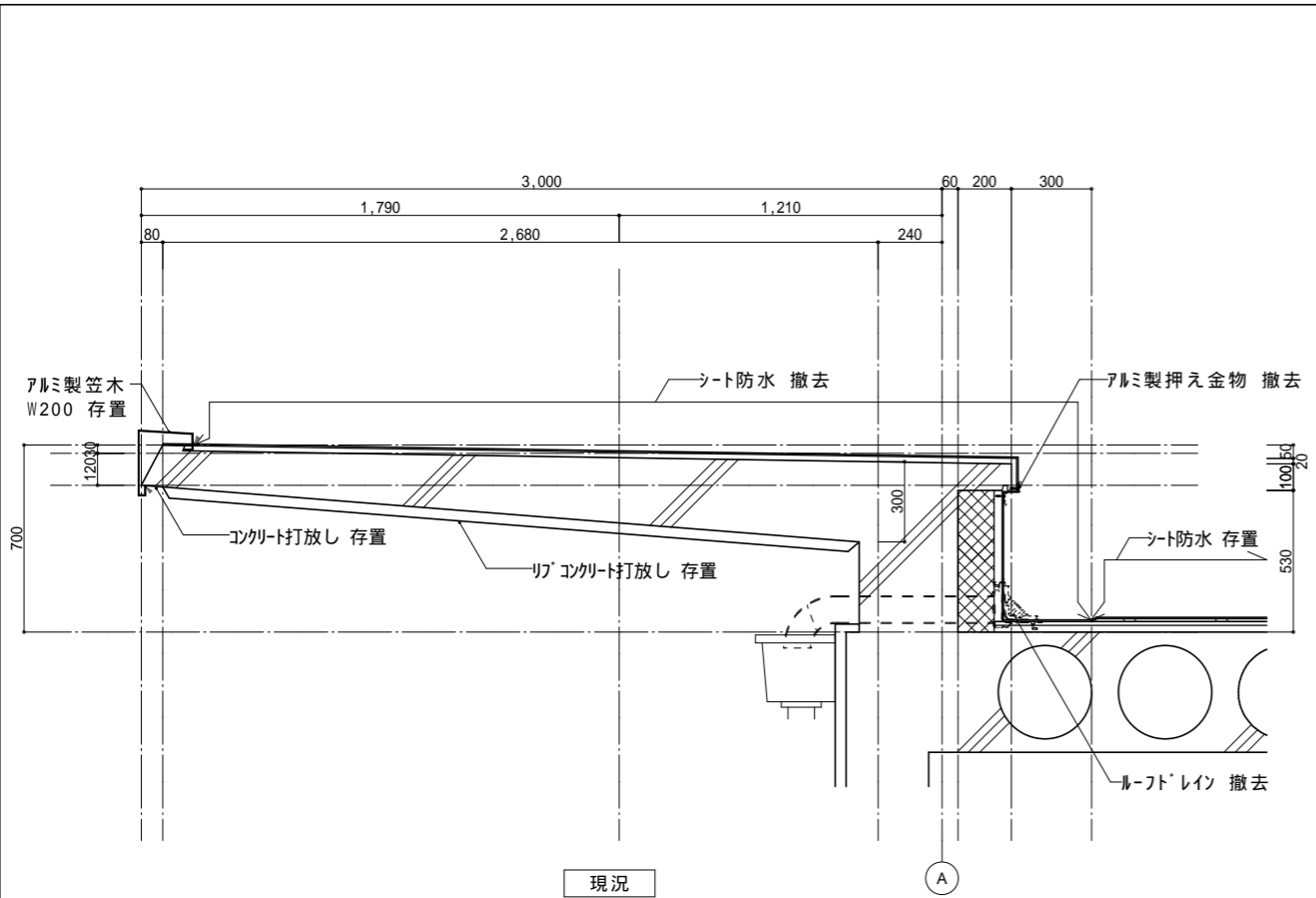
Kyoto Prefectural University 京都府立大学事務局総務課		中村設計 <small>豊田和弘 一級建築士事務所 京都府(03A)第00956号 豊田和弘 一級建築士 第193262号</small>	工事名 京都府立大学 7号館屋上防水改修工事	図番 A-15
設計番号 令和4年4月	図名 東 - 西断面図		縮尺 A2:1/100	A-18 枚の内



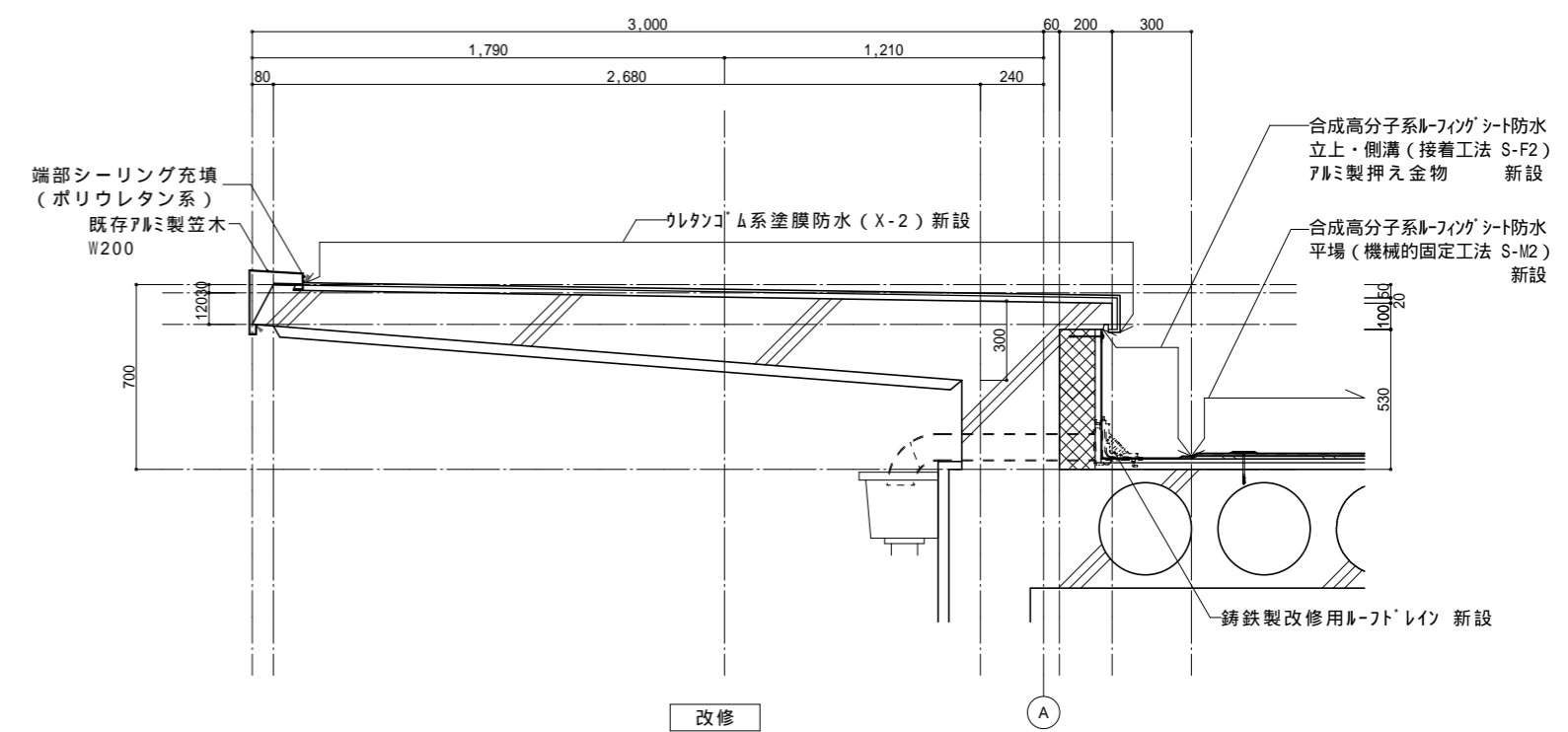
凡例
 : 防水改修範囲を示す

南 - 北断面図 1/100

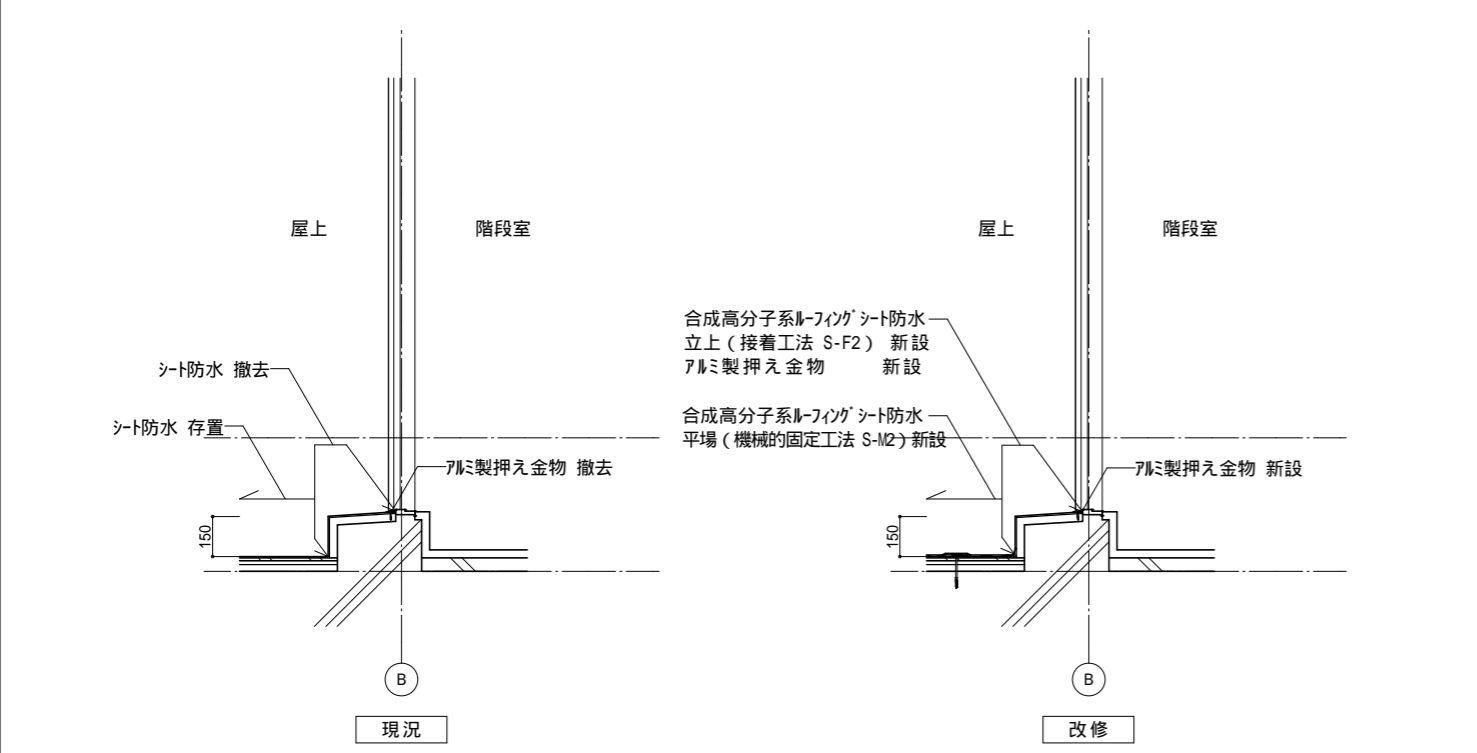
Kyoto Prefectural University 京都府立大学事務局総務課		 中村設計 豊田和弘 <small>一級建築士事務所 京都府(03A)第00956号 一級建築士 第193262号</small>	工事名 京都府立大学 7号館屋上防水改修工事	図番 A-16
設計番号 令和4年4月	図名 南 - 北断面図		縮尺 A2:1/100	A-18 枚の内



現況



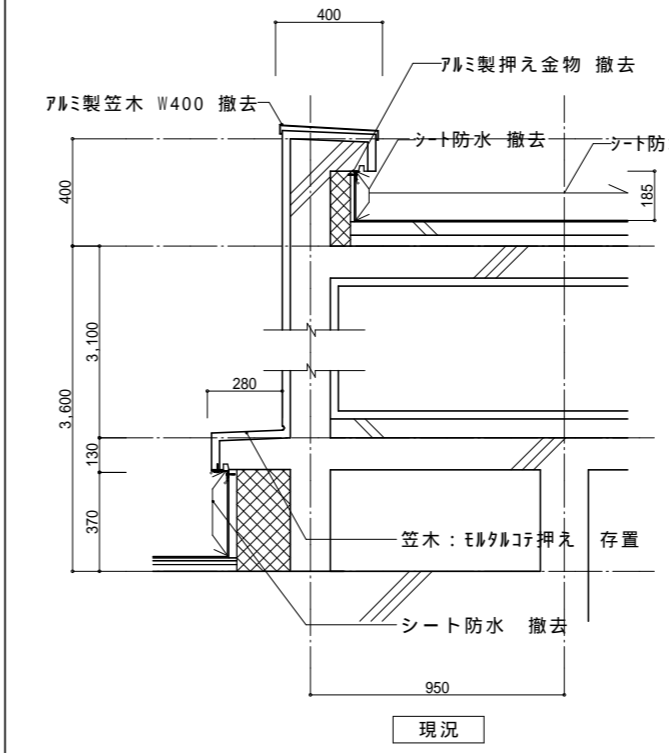
A-A'断面図



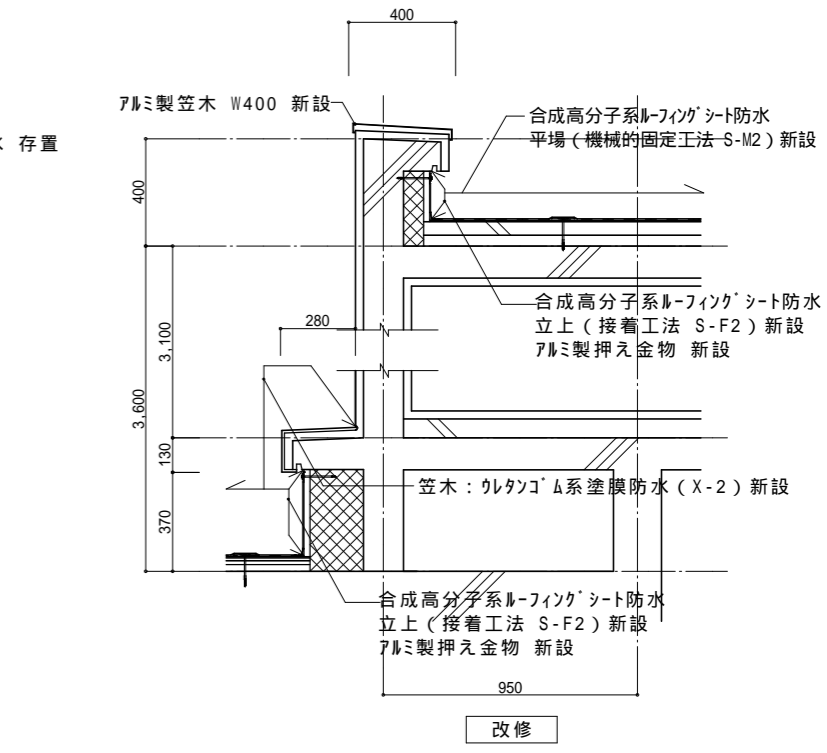
現況

合成高分子系ルーフシート防水立上 (接着工法 S-F2) 新設
アルミ製押え金物 新設
合成高分子系ルーフシート防水平場 (機械的固定工法 S-M2) 新設
アルミ製押え金物 新設

B-B'断面図



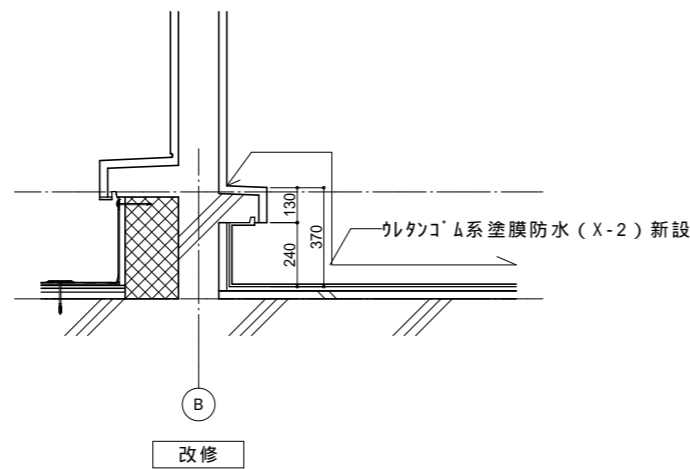
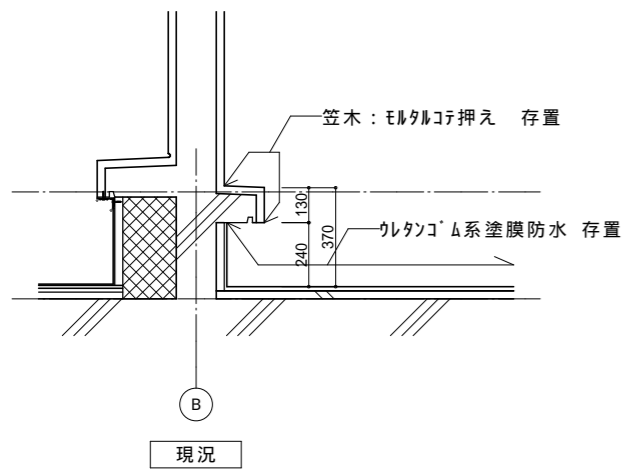
現況



改修

C-C'断面図

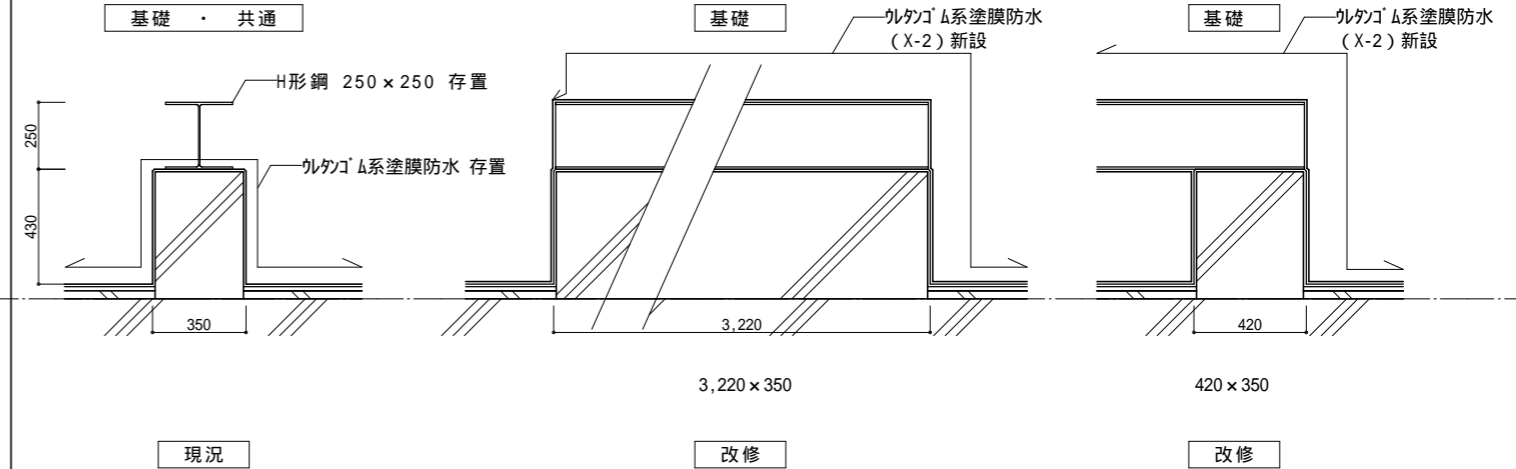
Kyoto Prefectural University 京都府立大学事務局総務課		 中村設計 <small>一級建築士事務所 京都府(03A)第00956号</small>	工 事 名 京都府立大学 7号館屋上防水改修工事		図 番
設計番号 令和4年4月			豊田和弘 <small>一級建築士 第193262号</small>	部分詳細図(1)	
			縮 尺	A2:1/20	



D-D'断面図

現況

改修



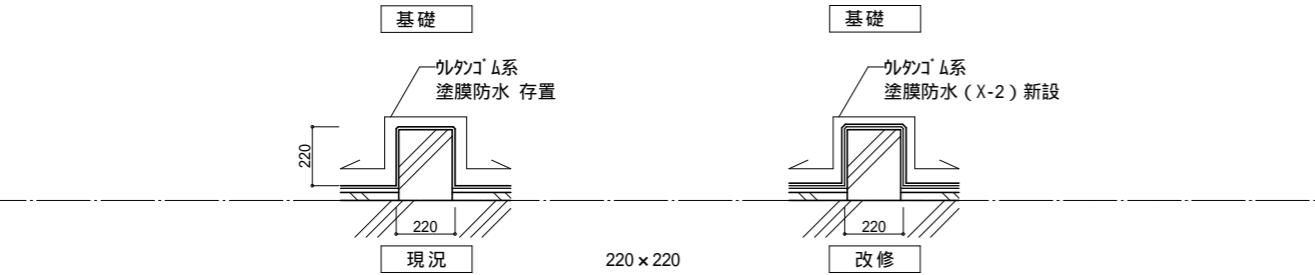
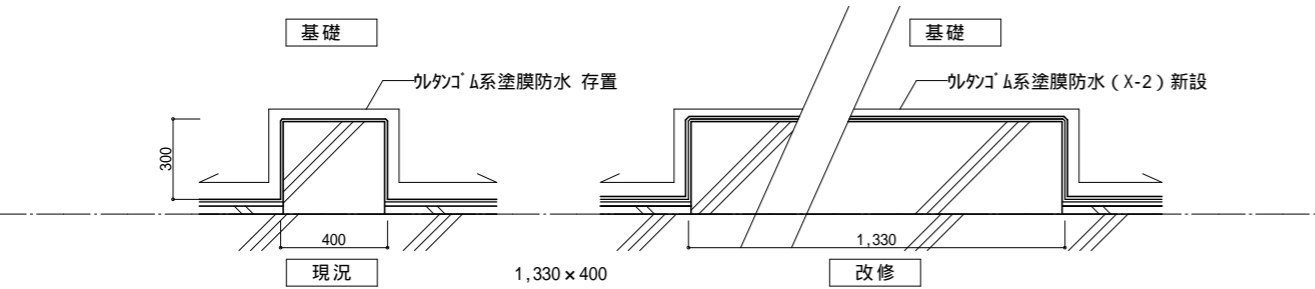
設備基礎部詳細図 1/20

現況

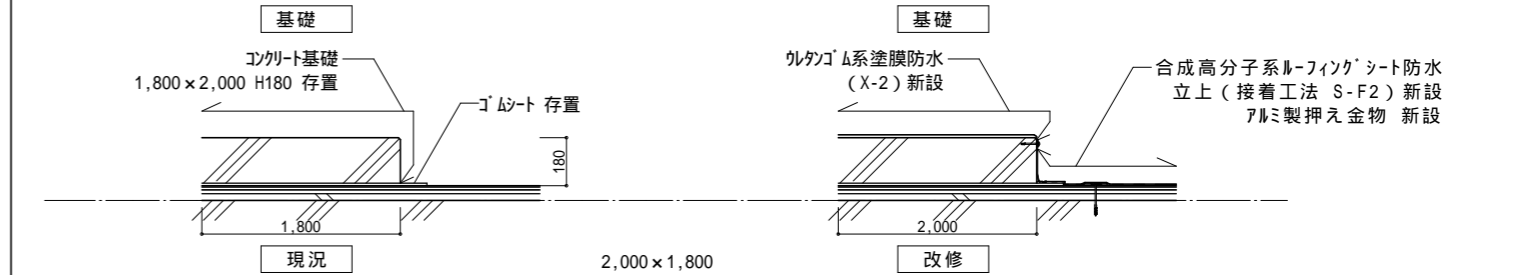
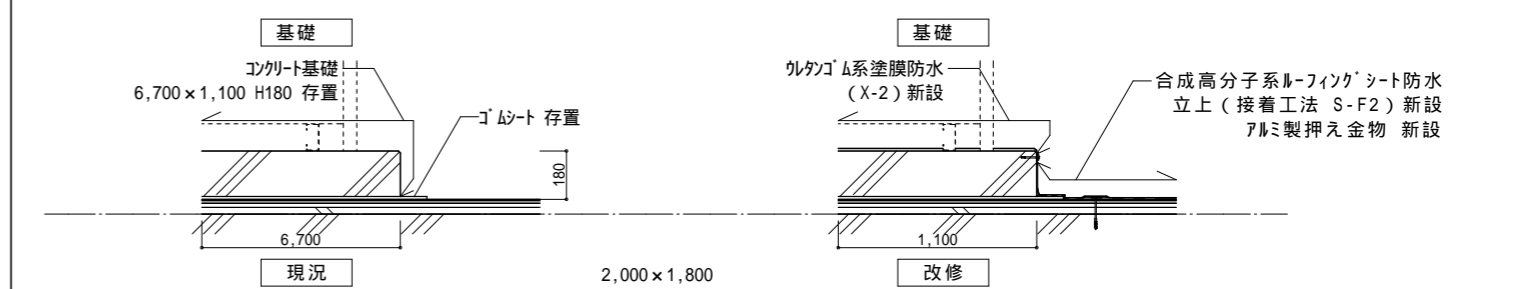
改修

改修

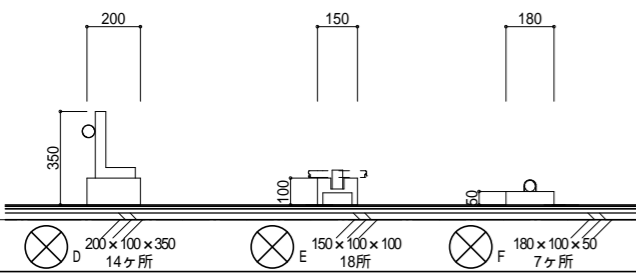
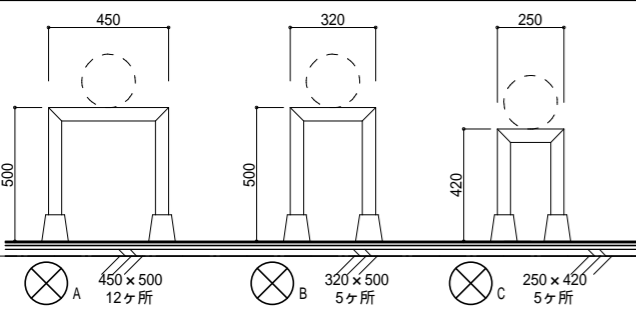
屋上防水階段部詳細図 1/20



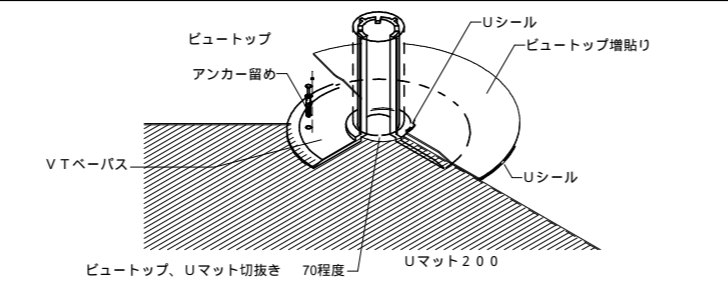
設備基礎部詳細図 1/20



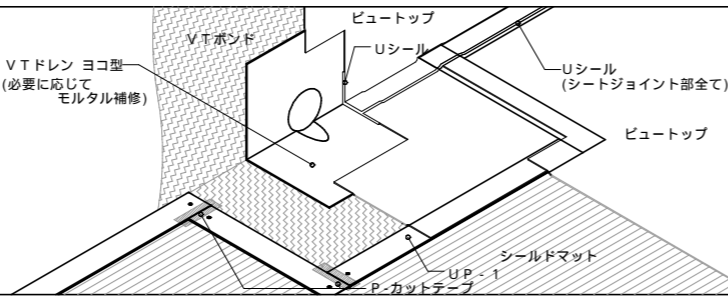
設備基礎部詳細図 1/20



配管支持金物参考図 1/20



脱気筒廻り詳細図 1/10



ドレン廻り詳細図 1/10

防水施工手順(案) 設備機器等については、既存のままとする。
立上部(接着工法:S-F2) 平場部(機械固定工法:S-M2)

- 下地清掃
 - 下地の乾燥を確認し、下地との接着を阻害する砂や塵埃、油脂類を除去、清掃。
- 下地処理(プライマーおよび樹脂モルタルなどの塗布)、目地処理
 - 下地との接着力を高めるために、プライマーおよび樹脂モルタルを均一に塗布。
- 接着剤の塗布
 - 合成ゴム系の接着剤を下地面およびシート表面に均一に塗布。
 - 接着剤は、適正な乾燥時間を確保。
- ルーフィングシートの張り付け
 - シートの割付後、シートにしわや空気が入らないようローラー等で十分に転圧。
 - 溶剤溶着又は熱融着で、接合部のすべてを接合する。接合幅は40mm以上とする。
- 立上部の仕上
 - 合成ゴム系の接着剤を下地面およびシート表面に均一に塗布。
 - シートを張り付け後、ハンドローラー等で十分に転圧。
 - 末端部は押さえ金物などで固定し、不定形シール材でシール。
- 接合末端部のシール
 - シール材を用い、途切れのないようすべての接合部をシール。

- 下地処理
 - 樹脂アンカーやビスの引抜試験を行い、水溜りになるような大きな不陸は、補修し平滑にする。固定強度が適正かどうか、下地の強度を確認。
- 絶縁用シートの敷設
 - シートの敷設は突き付けとし、しわ、ふくれの無いようにするジョイント部は、テープ張り。
- 固定金具の取り付け
 - シートの割付や風荷重を考慮して取り付ける。
 - 樹脂アンカーやビスは、適正な引き抜き強度を有すること。
- ルーフィングシートの張り付け・接合
 - シートはたるみ、歪みが残らないよう、固定金具に溶剤溶着、熱融着。
 - 溶剤溶着又は熱融着で、接合部の全てを接合。接合幅は40mm以上とする。接合後点検をし、不良箇所を補修。
- 役物まわりの処理
 - シート張り付け後、ルーフトレインや出入り隅角等に成型役物を張り付ける。
- 接合末端部のシール
 - シール材を用い、途切れのないようすべての接合部をシール。